

TOYO UNIVERSITY

東洋

2021

令和3年度



東洋大学雨水会報 Vol.161

ごあいさつ

学校法人東洋大学 総長 福川 伸次	1
学校法人東洋大学 理事長 安齋 隆	1
東洋大学 学長 矢口 悦子	2
学校法人東洋大学 常務理事/ 甫水会常任理事 寺田 伸幸	2

新学部長より

文学部長 山口 しのぶ	3
社会学部長 桐生 正幸	3
国際観光学部長 中挾 知延子	4
総合情報学部長 加藤 知恵子	4

対 談

東洋大学甫水会 会長×	
東洋大学甫水会 常任理事	5

キャンパスガイド

白山キャンパス	9
川越キャンパス	10
板倉キャンパス	11
赤羽台キャンパス	12

学部紹介

文学部 / 経済学部 / 経営学部	13
法学部 / 社会学部 / 国際学部	14
国際観光学部 / 国際地域学部 / ライフデザイン学部	15
理工学部 / 総合情報学部 / 生命科学部	16
食環境科学部 / 情報連携学部	17

大学事務局の窓口から

日本人学生と外国人留学生が共に生活し、 成長を促進する国際交流宿舍	18
国際部 部長 高橋 清隆	
「本学における経済支援の概観」	19
学生部学生支援課 課長 笠原 隆	
就職関連	20
就職・キャリア支援部 部長 石井 健一	
納付金（学費等）について	21
経理部財務課	

甫水会活動

2020年度甫水会活動報告	22
2020年度事業報告	
2020年度会計報告	
2021年度甫水会事業計画	28
2021年度事業計画	
2021年度予算書	

沿革・寄贈

本部行事・支部行事

本部行事	33
支部行事	35

甫水会役員名簿

本部役員・評議員・顧問	36
本部役員紹介	37

生協グッズ/甫水会ウィンドブレーカー

東洋大学グローバルサービス株式会社からのご案内

東洋大学へのご相談・お問い合わせについて/ 学部・学科の再編について

HPのご案内/甫水会からのお願い



学校法人東洋大学 総長

福川 伸次

時代の変革を先導しよう

一時沈静化するかにみえた新型コロナウイルス感染症も変異株が拡がり、世界に脅威をもたらしています。日本もこれまでの経験から水際規制とワクチン接種を強化しようとしています。日本は医療政策の根本的な改革が必要です。

国際情勢を見ると、米中の対立が厳しさを増し、中国やロシアをめぐる米欧の反発も高まっています。世界は、正義、自由、法治、人権といった基本的価値を軸にグローバリズムの再生を求めています。日本としてはその意義を再確認し、世界に働きかけていくべき時期にあります。

日本経済はイノベーション力の停滞が続き、岸田内閣では「新しい資本主義」の確立に力を入れようとしています。私は、「質の高い経済」の実現に努力すべきだと考えています。「質の高い経済」とは、付加価値が高く、革新力が豊かで、知的進化の早い経済を意味します。同時に、社会秩序が安定し、社会福祉が充実していなければなりません。

企業は経営力を革新し、顧客価値を創造し、従業員の価値を高めていく必要があります。併せて産業と文化、技術と芸術の融合を図り、高価値経済の実現に寄与すべきです。

地球温暖化はますます深刻になりつつあります。2021年10月から11月にグラスゴーで開催された国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）の決議を効果的に実行しなければなりません。

こうした課題解決の根底にあるものは、人間価値尊重の哲学であり、国際協調の精神であり、人間能力高揚の戦略であります。本学が創立者井上円了先生の教えを活かし、国際社会に協調の精神と革新の価値観を取り戻すことに貢献することを期待しています。

本学においては教職員と学生の協力で教学水準の維持向上に努めております。甫水会会員の皆様の日頃からのご支援に感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



学校法人東洋大学 理事長

安齋 隆

大学の出番—「寅年」の勇氣

甫水会の皆さんには、本学支援のために種々お心遣いをいただき誠に有難うございます。

ところで、我々人類はかつてない危機に直面しています。

まずは新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大です。世界で次々と変異株が拡がりました。そんな不安と恐怖の中で我々が学んだのは、各国が実態を隠さずに世界に情報を極力早く提供するほか、マスク着用、手洗い、ソーシャルディスタンスの維持とワクチン開発・接種の拡大に努めることです。しかし、問題はワクチンを世界中に満遍なく配給するシステムが出来ていないということです。これでは世界的感染を封じ込めることは難しく、次々と新たな変異株の登場を許し、その度に世界経済全体が下押し圧力に振り回され続けることにならざるを得ません。

さらに人類にとって心配なことは世界的な異常気象の頻発です。産業革命以来の200数十年のわずかな期間に人類自らの未来をここまで深刻なものとしてしまいました。世界主要国のそれぞれが炭素排出の削減目標を設定するだけでなく具体的な実行が求められています。

この2つの問題は、「今さえよければ、ここさえよければ、自国さえよければ」的な手段では到底対応できません。世界のすべての国々が連帯して当たらなければならないのです。

創立者井上円了先生の建学の精神に基づく「他者のために自己を磨く」「活動の中で奮闘する」を『東洋大学の心』として掲げ、『学校法人東洋大学SDGs行動憲章』を宣言した大学として、世界の連帯を世界の大学に呼びかけることはできないであろうか。



東洋大学 学長

矢口 悦子



学校法人東洋大学 常務理事
甫水会 常任理事

寺田 信幸

困難を乗り越えるための知恵と仲間を

甫水会の皆様には、いつも大変お世話になっております。昨年度から続いておりますコロナ禍における大学の対応につきましても、多々暖かいご支援を賜りまして、心より御礼申し上げます。

多方の予想に反して、新型コロナウイルス感染症は、依然として収束の見通しが立たない状況が続いております。そのような状況下ではありましたが、2021年10月から本年1月半ばまでは、本学でも学生の安全と最新の感染状況に配慮しながら、対面での授業を増やすことができ、課外活動やサークル活動なども段階的に再開することができました。学生の皆さんは、こうした変化に対応しながら学びを続け、短い時間ではありましたが、キャンパスの各所で嬉しそうに友人たちと(距離を取りながら)語る姿を多く見かけることができました。にぎやかな学生たちの姿があってこそそのキャンパスであることをしみじみと感じております。

さて、このコロナ禍にあって、様々な夢をあきらめざるを得なかった学生たちも多くいたことと思います。当然ながら落ち込んでしまったことと思います。しかし、その状態から、どのように自分を立ち直らせていくかを模索する中で、あるいは関心を広げて何かに打ち込むことで、新たな何かを発見した学生も多いでしょう。時には他者の助けを受け、また、逆に困っている他者を助けるという経験もあったかもしれません。もちろん孤独の中で、本を読み思索を深める時間を得て深い学びを重ねた、という学生もいると思います。そうした経験をじっくりと振り返って、次の一步を踏み出すことのできる力、今、そうした力が問われているようです。「つらいのは自分だけではない」「困っている人を支える力を持ちたい」そんな声が学生たちから聞こえてくるたびに、本学の創立者井上円了先生の思想を受け継ぐ「他者のために自己を磨き」「活動の中で奮闘する」という東洋大学の心が確実に継承されていることを感じます。

いよいよ、本年2022年4月から成年年齢が18歳となります。しかしながら、学生たちは一気に成人として成熟するわけではありません。とりわけ、他者と密接にかかわり、意見をぶつけ合い、多様性を認める中で自らの価値観を確立する機会が、コロナ禍によって制限されてきた学生たちにとっては、これからの学生生活が大人としての自覚を深める場になると思います。私たちは、いろいろな方法を駆使して、学生たちが思いっきり学び、語り合い、議論し、泣いたり笑ったりしながら、自己を見つめ、しっかりと成長する場を提供したいと考えています。そして、学生一人一人が、自らの軸を打ちたて、これからの人生で何度も遭遇するであろう困難を乗り越えるための「知恵」と「仲間」をみつけてほしいと願っております。

ピンチをチャンスに！

東洋大学甫水会会員の皆様には、常日頃から東洋大学の発展にご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。この度、大熊常務理事の後任として甫水会常任理事を務めさせていただくことになりました。何卒よろしくお願いいたします。

今、東洋大学は新型コロナウイルス感染症への基本的な感染防止対策をしながら、同時配信やオンデマンド方式を活用し、対面と非対面を使い分けて授業を実施しています。2020年度は学長の指揮のもと「学びを止めない」を合言葉に、教職員が一丸となって授業提供を維持し、2021年度は「授業の質や方法の改善」を目指し、非対面であってもより良い授業の提供を心掛けてきました。お陰様で非対面授業への評価も良い方向に大きく変わり、学生の皆さんから評価されています。

このような取り組みにより、文部科学省の「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に、本学の「『学生一人ひとりの成長を約束する学修者本位の教育の実現』～“3万人のLearning Journey”の羅針盤～」が採択されました。この「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」は、大学・高等専門学校においてデジタル技術を積極的に取り入れ、「学修者本位の教育の実現」、「学びの質の向上」に資するための取組における環境を整備し、ポストコロナ時代の高等教育における教育手法を具体化し、その成果の普及を図ることを目的としています。

現在、東洋大学教育DX推進基本計画を策定して、スマートフォンを学生との新たな接点とするCLMS (Campus Life Management System) アプリの開発と本学既存ITシステムとのデータ連携・利活用を実現するための環境(データプラットフォーム)整備を進めています。本アプリの展開は、当面学生の皆さん中心ですが、順次、保護者の皆様にもご利用いただき、本学の教育情報、就職関係情報の提供など、甫水会の保護者面談や個別対応で行われていた情報提供機会をより柔軟なものにしたいと考えています。



文学部長

山口 しのぶ

文学部における学生の主体性を育む 取り組みについて

「諸学の基礎は哲学にあり」という理念のもと創設された東洋大学において、文学部は創立当初の教育内容を受け継ぐ歴史ある学部です。現在、文学部には哲学科、東洋思想文化学科、日本文学文化学科、英米文学科、史学科、教育学科、国際文化コミュニケーション学科があります。いずれの学科も文学部の教育目的である「ものの見方、考え方」や「読む力、書く力、考える力」を養い、「国際社会に適応できる十分な力を備えた人材の育成」のため、それぞれの学科の特性を生かしながら教育を行っています。

近年、日本をふくめた世界全体の政治、経済、社会、文化の変化、また災害や病気の世界的流行などの状況下、自分たちを取り巻く状況に対し自分自身で考え判断し、対応しなければならない時代が来ています。その課題解決のための「真の教養」を身につけるべく、文学部では哲学、歴史、文学、文化、教育など人間に関わる学問の基礎を学びます。その中で特に専門科目の授業は比較的少人数で、学生が自主的な学修を進めていく際に、教員が学生個々の学修の進展をみきわめ適切なアドバイスを行えるような体制を整えています。

また国際的視点を養うために、文学部基盤教育として「海外文化研修」の授業を取り入れており、毎年度教員の引率のもと、欧米やアジア諸地域の社会・文化を広く体験する海外研修を複数コース開設しています。学生たちはそのような機会を利用し広く世界を見る目を養い、あるいは将来の中長期の留学のための準備を行っています。残念ながら2021年度はコロナ禍のため中止しましたが、2022年度は、イタリア、インド、ウズベキスタン研修を計画しています。

さらに卒業後の進路に関しては、文学部は毎年度就職・キャリア講演会として企業関係者のセミナー、及びより身近な文学部卒業生による就職講座（OB/OG講演会）を開催し、学生が具体的に進路を検討するための材料を提供しています。



社会学部長

桐生正幸

社会学部における学生の主体性を育む 教育について

社会学部の教育では、多角的な視点から様々な社会問題に対し、積極的にアプローチできる学生を育てることを大きな目標としています。

そのため、基礎研究、応用研究、社会实践といった3本の柱を立て、社会学科、社会文化システム学科/（2021年より）国際社会学科、社会福祉学科、メディアコミュニケーション学科、社会心理学科、および社会学科（イブニングコース）の各学科において、特色ある教育プログラムを実施しています。例えば、学部共通科目である「社会調査および実習」では、自ら課題を見つけ、データや資料を収集し、多様な分析方法を用いて、社会問題の本質にアプローチしています。あるグループの調査では、「高校生にSNSが及ぼす悪影響」をテーマに掲げ、先行研究では未だ明らかにされていない内容を目的とし、社会調査の研究手法に則った質問紙の作成、フィールドワーク手法や面接法を駆使してデータを集め、データの質に見合った最新の統計手法で分析を行いました。そして、その結果を、調査協力をしていただいた高校にフィードバックし、役立てていただいています。

また本学部の特色としては、英語による専門科目の学習や国際社会での体験が挙げられます。2021年度に開設された国際社会学科の各プログラムを始め、1年の演習科目（ゼミ）から英語での学びを体験（社会学科）、アメリカ・シアトルでの裁判所などの司法機関での実習（社会心理学科）などが実施されています。加えて、実社会での実践的科目も充実しており、放送局や新聞などメディア業界での実践的学習（メディアコミュニケーション学科）、地域や施設における生活支援に関わる現場実習（社会福祉学科）などが行われています。

変化し続けている社会情勢において、私たち社会学部の教員一同は、常に最新の研究と実践をもって、学生の一人一人に手厚く教育指導を実施しているところです。



国際観光学部長

中挟 知延子

国際観光学部における 学生の主体性を育む取り組み

国際観光学部のミッションは、「観光をマネジメントできる」人材を世に送り出すことです。国内外の観光に関わるあらゆる場面で、“旅を愛し、地球を愛する人々”へ最高のホスピタリティを提供できるマネジメント力を備えた人材を育成しています。そこで欠かせない能力の1つがグローバルなコミュニケーションスキルであり、世界中の人々と文化の違いを超えて意思疎通を図ることができる能力です。本学部では、毎年夏季と春季の学生の休暇に、希望者を対象に海外のいくつかの国や地域に2～3週間の短期滞在をする研修プログラムを実施しています。ここで特筆すべきは、このプログラムが語学研修だけではなく、現地学生との交流や、地域文化の理解も合わせた観光学の学修になっており、学生が体験を通じて自分のアイデアを出していくという学習プロセスをサポートします。観光と地球環境とをどのように共生させていくのかという、持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の方策についてプレゼンなどを通じて提案します。以下が研修地域です。

①ハワイ大学マノア校（アメリカ）

サステナブルツーリズムについて学び、実際に先住民ツーリズムに参加します。英語学習に合わせてハワイの王族の歴史と文化やハワイ語にも挑戦します。

②義守大学（台湾）

中国語を学びながら、台湾南部を小旅行して地域文化に触れます。さまざまな台湾文化イベントに参加して、現地学生や周辺地域の人々と交流します。

③ミュンヘン大学（ドイツ）

ドイツ語とドイツの文化・社会・歴史を学びます。アートセンターやビール醸造所など、ミュンヘンを代表する企業・機関を訪問見学します。

④カリフォルニア州立工科大学ボモナ校（アメリカ）

アメリカの観光学科を持つ大学で就業体験をすること、英語でのコミュニケーション能力を高めることを目的としています。

以上4つのプログラムをご紹介しました。コロナ禍に見舞われてここ2年は滞っていますが、状況が改善され次第、東南アジア地域なども加えて、地球を俯瞰する充実したプログラムに今後していく予定です。



総合情報学部長

加藤 千恵子

総合情報学部の主体性を育む取り組み

総合情報学部は、文理融合の実践的教育に取り組んでいます。1年次は、情報系の必修科目において、情報の基礎知識を習得します。2年次から3コースに振り分けで、学生は1年次の履修経験を基に、希望のコースを選択します。

2年次は、選択したコースの実験実習を履修します。システム情報コースでは、AI開発等で、自分でアルゴリズムを考案します。心理スポーツ情報コースでは、例えば学生アスリートが自身の体験を題材にしてスポーツダイナミクスを学べます。その他、心理・生体データの測定・分析、評価やクライアントの心理的支援の活用方法等を実践的に学びます。メディア文化コースでは、CGデザインソフトの操作やウェブデザインの基礎を習得し、自分で独自のCG、ウェブデザイン、AIアプリを制作／開発します。

3年次から配属されたゼミ単位で深く学びます。各ゼミの実験室でPC、装置や実験機器を使った実験実習を通じて、専門知識、実験・調査手法、プログラミング等の知識・技能を習得します。4年次卒業研究・制作では、本人の興味ある課題を卒研テーマにして、春・秋学期で、開発・制作に取り組みます。

本学部のカリキュラムでは、社会調査士、「情報」高校教員免許、公認心理師、NSCAのスポーツの国際ライセンス等の資格取得を目指せます。総合情報学部独自の「ITカウンセリングメンタルトレーニングルーム」では、進路相談、公認心理師・NSCAパーソナルトレーナー／ストレングス&コンディショニング等、資格取得支援の課外講座を開設しています。さらに、学部独自のグローバル化を推進・展開するためのSGUルームを設置して、留学や渡航相談の他、外国語会話の実践を行っています。本SGUルームのグローバルコミュニケーションでは、英語と日本語の他に中国語も含めた3か国語で、ネイティブの留学生、帰国子女、本学部の外国人教員との異文化交流を体験することができます。この他、ダイバーシティ&インクルージョンの啓蒙教育として毎年、国内外から著名な方々をお招きして、シンポジウムを開催しています。



対談

東洋大学 甫水会 常任理事

東洋大学 甫水会 会長

東洋大学 甫水会 常任理事

平野 貴子 × **川本 正信** × **濱田 幾久子**

東洋大学甫水会は、東洋大学の学生を持つご父母保証人の会です。

日本全国に56支部があり、それぞれ独自の活動を行っています。

甫水会本部では大学と協働し、東洋大生を応援するために、給付型奨学金制度を初め、様々な応援支援体制を整えています。



学び方が多様化し、
グローバルな視点の人が
育っていくことを願います。

東洋大学 甫水会 常任理事

平野 貴子（ひらの たかこ）

川本会長

今年度の本部役員の特徴として首都圏以外の支部からも本部役員になっていただきました。本日は、静岡県支部所属の平野常任理事、高知県支部所属の濱田常任理事をお迎えして、東京に学生を送り出す親としての率直な気持ちや甫水会活動についてお話を伺おうと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まずは東京の大学にお子さんを送り出すときの気持ちはどんな感じでしたか？

平野常任理事

正直ワクワクした感じでしたね。高校までは一緒に生活していて、どうしても親として口数が多くなってしまっていて、子供からすればウザイと思われていたかも知れない。そういう関係が変わり、ひとりで東京に出て成長していく姿を見られるのだという思いが強かったですね。

濱田常任理事

うちは末っ子でひとり暮らしがしたいと言っていました。姉が東京で暮らしているの、そこで一緒に住むことになって、生活面では心配はしていません。

川本

平野さんはうちの子と同じ川越キャンパスでしたよね。住んでいるところも川越ですか？

平野

キャンパスの近くで一人暮らししています。いまはスマホもあるので男の子ですが料理の作り方もネットで見て作っているようです。

濱田

うちは長女が料理好きなのでご飯の心配は全くありません。地方から出ていくと経済的な負担が大きいですが、それに見合うような人生経験を積んで欲しいですね。

川本

うちは東京生まれの東京育ちでほとんど東京しか知らない。広い視野を持って欲しいと思い大学では地方出身の友達を作れと言っていたのです。地元の仲間とばかり話をしていたら中学高校の延長と同じです。せっかく全国区の大学に入学したのだから全国に友達を作るくらいの気持ちでいて欲しいと思っていました。

私自身、大学で初めて友達になったのは長崎と鹿児島出身の2人で最初は九州弁が全く分からなかったけれど、言葉や生活感の微妙な違いなど学ぶことがとても多くて、いまでも社会の見方や人間関係などに役に立っています。

やはり大学っていろいろな意欲を持った人、いろいろな経験を持った人が集まってきて、お互いに刺激し合って初めて総合大学と呼べるのではないかと思います。

大学の先生もいろいろな知識を授けてくれるけれども、同世代の学生同士から受ける刺激も人生にとって大きな価値に繋がっていくのではないかと思います。

平野

息子の友達関係は関東圏の自宅から通われている学生が多くて、地方の割合は少ないのかなって思います。

濱田

これは大学の考え方によるのでしょうかけれど、できれば地方の高校に推薦枠をもっと増やして欲しいと思います。推薦で年内に進学が決まっていれば、アパート探しや親の心やお財布の準備も余裕を持って出来ますよね。

多彩な学生が集まる
総合大学としての
東洋大学に期待しています。

東洋大学 甫水会 会長
川本 正信〔かわもと まさのぶ〕



川本 昨年から新型コロナの影響で大学での学び方も大きく変わりましたが、甫水会では経済的な理由で退学せざるを得ない学生を一人でも少なくしたいという思いで、大学の奨学金制度に寄付をしたり、学内で食料品を無償提供する Hands to Hands 2021に参加したり、コロナ陽性で自宅隔離しなければならない学生に食料品を直接宅配する事業にも協賛しています。

濱田 コロナ禍で大変な中、甫水会のやってこられた事業は外から見ても素晴らしいと思っていました。他の大学でも保護者会があるところは知っていますが、ちゃんと機能して全国で活動が続けられているところはあまりないのではと思います。

平野 私も上の娘のときは父母会活動を知らずに終わってしまったので、改めてこうして参加することが出来てうれしいです。甫水会活動を知らない親御さんも多いと思います。この活動をもっと知ってもらいたいと思います。

川本 地元のご父母にどうやって甫水会活動をアピールしたら良いのでしょうか？

濱田 甫水会から郵便が届いても開けない読まない人が多いのですよ。そこが不思議で。大学4年間は我が子に対する大きな投資をしているわけで、親も知る権利があると思うのです。大学の現状とか部活とかサークル活動とか、就職状況はどうなのかとか、親として知りたい情報はたくさんあると思います。甫水会としての情報がちゃんと届いていないというのは残念ですね。

川本 子供が4年間在籍している間、大学について知る機会がここにはあるということをPRしていきたいですね。

平野 父母会というどうしてもPTAというイメージが強い。

濱田 PTAって親は労力を提供するだけ。パソコン出来る人はお手紙書いて、あとは体育館の椅子を運んで、とかね。(笑) それでもう嫌になってしまう。

平野 支部役員さんの勧誘の話をすると、PTAの話をされることがよくあって、甫水会はぜんぜん違うものなのですね。

濱田 私はPTA会長をずっとやっていましたけれども、小学校中学校高校と、上に上がればPTAも求められるものが変わってくるのです。大学の父母会はさらに違って、同じ父母同士の交流の場、大人のサークル活動みたいなものですね。

平野 サークルっていうネーミングがいいですね。小学校とか中高の役員勧誘って、どうしても子供と繋がっていて、誰々ちゃんのお母さんから誰々くんのお母さんにつなぐとか、親も子供の関係を見ているし子供もそういう親を見ているよね。それが大学では完全に親と子のそういう関係はありませんね。濱田さんのお子さんがどういう人だか知らないから我が子と比べようもないし、そういう意味でも純粋な大人同士の楽しみ方が出来るのではないのでしょうか。

濱田 大学の主役は当然学生なのですねけれども、でも親も4年間楽しむ、そういう権利は絶対あるし、やってみたら楽しいし、それを知らないで学費



予測困難な今だからこそ、
都会で学び、
世の中の変革のスピードを
体感してほしいと願っています。

東洋大学 甫水会 常任理事
濱田 幾久子 (はまだいくこ)

と生活費を送り続けて4年間終わっちゃうのはやっぱりもったいないと思います。

平野 地元を離れて、県を超えて、全国レベルでの出合いのきっかけって他にはないですね。

川本 仕事関係とか利害関係の無い、たまたま同年代の子供が同じ大学に通っている、そのことだけで結びついている甫水会の4年間は貴重なものだと思います。

首都圏だとスポーツ応援会とか出来るのですが、地方でもランチ会とか気軽な父母交流会を開いて東洋大学や学生生活について、親同士楽しめるイベントを各支部で企画して欲しいと思います。本部も積極的に支援していこうと考えています。

平野 コロナ禍になって、うちの子は2年間は通学できましたが2年間はネット授業を受けて来ました。対面非対面、どちらも良い面があると思うのですが、地方から東京の大学に送り出すときに、コロナが収束してからも非対面授業も選択できると親の負担、経済的ハードルが下がるのかなと思います。

川本 昨年度入学した学生の父親から聞いた話ですけど、1年間ネット授業だけだったので、東京のアパートから実家に戻して1年分の単位を取らせたそうです。

ただやはり大学では対面で、先生に直接質問をぶついたり、先輩後輩の人間関係を築いたりすることで磨かれることも大きいですね。

濱田 ネット授業で学習意欲が続かなくなってしまうとか心配することもあると思いますが、新し

い学び方を大学でもいろいろ考えられて対応されているのじゃないかな。

川本 コロナ禍で甫水会の活動も大きく変わって来ています。非常事態宣言が発出しているときは会議もネットで行って来ました。各支部でもネットを利用して打合せをしています。

濱田 支部総会もネット上で議案書を載せるだけになると活動が停滞してしまいます。役員さん募集でも、手紙や電話ではもう古くて、最低でもメールで連絡を取り合えるようにしないと難しい。

平野 支部活動の継続のためにはマニュアルも重要だと思います。新しい時代に合った支部運営を考えていかなければいけないと思います。支部長さん同士の交流の場も必要で、イベントの成功例だとか、会員さん同士で盛り上がる企画アイデアの共有ももっとあったら良いと思います。

濱田 とにかく一般の会員さんたちに楽しんでもらえる会にすることですね。甫水会はサークルですから。

平野 学生を応援するサークルでもあり、親同士交流するサークルでもありますね。

川本 東洋大学を知り、東洋大生を応援しながら、親も気軽に仲間たちと4年間楽しく過ごす。そんな甫水会にして参りましょう。

本日はありがとうございました。

白山キャンパス

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

文・経済・経営・法・社会・
国際・国際観光・国際地域学部
イブニングコース (第2部)
大学院



敷地：3万6,412㎡／校舎：11万2,712㎡

MAP



ACCESS

- JR東横線から浅草駅でバスで10分 東洋大学前下車
- 都営地下鉄三田線で白山駅下車 徒歩5分
- 都営地下鉄三田線で千石駅下車 徒歩7分
- 東京メトロ南北線で本駒込駅下車 徒歩5分

東洋大学は1887(明治20)年に井上円了博士によって本郷区龍岡町(現文京区湯島)の隣祥院内に「私立哲学館」として創立されました。1897(明治30)年より小石川区原町(現文京区白山)に校舎を構え、この地とともに歴史を歩んできました。創立100周年を機に、高層集約化による近代的なキャンパスとなり、文系学部・イブニングコース(第2部)・大学院の学生、約21,000名が通学しています。

創立者の立像が見守る「雨水の森」は、地形を活かした緑と水のオーブンスペースが評価を受け、2003(平成15)年度に文京区の第3回文の京都市景観賞「景観創造賞」を受賞しました。

5号館は、井上円了ホールと井上円了記念博物館があり、創立者を記念した建物となっております。

6号館は、西門のポケットパークやシンボルツリー(大楠)、屋上緑化が評価され、2005(平成17)年度第5回文の京都市景観賞「景観創造賞」や、2006(平成18)年度東京都環境賞「知事賞」を受賞しました。

創立125周年を迎えた2012(平成24)年に「研究開発」「国際化」「交流・発信」の機能を備えた125周年記念館(8号館)・9号館が完成。

2017(平成29)年に10号館が完成しました。タワー型の2号館からは副都心を一望できます。キャンパス内には複数の学食スペースがあり、メニューも豊富に取り揃えています。

お問い合わせ先

ご案内事項	取扱い窓口	連絡先
●キャンパス代表	総務課	03-3945-7224
●教務関係	文 学 部 経 済 学 部 経 営 学 部 法 学 部 社 会 学 部 国 際 学 部 国際地域学部国際地域学科 国際観光学部 国際観光学部国際観光学科 大 学 院 各 学 部 共 通	東洋大学ホームページ 「お問い合わせ窓口」から https://www.toyo.ac.jp/about/Introducing/yellowpage/
授業・成績等		
証明書音声ガイド		03-3945-7225
●学生生活関係		
奨学金	学 生 支 援 課	mlscholarship@toyo.jp
アルバイト・下宿・アパート		mlgakuseibu@toyo.jp
サークル活動		
運動部関係		ml-prsupport@toyo.jp ml-imu@toyo.jp
学生サポート室		
学生サポート室(障がい学生支援)		
保健管理室		
●就職・キャリア相談	就職・キャリア支援部	mlcareer@toyo.jp
●留学関係	国際教育センター/国際部	mlryugaku@toyo.jp
●寄付・募金関係	募 金 課	bokin@toyo.jp
●図書館関係	白 山 図 書 館	mlsetsuran@toyo.jp
●学費関係	財 務 課	mlgakuhi@toyo.jp
●入試	入 試 課	入試情報サイト問い合わせフォームから https://www.toyo.ac.jp/nyushi/inquiry/

川越キャンパス

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100

理工学部・総合情報学部
大学院理工学研究科
大学院総合情報学研究科
大学院学際・融合科学研究科



敷地：28万6,981㎡／校舎：7万7,374㎡

川越キャンパスは、1961（昭和36）年に工学部の学生が学ぶキャンパスとして開設されました。現在では理工学部、総合情報学部、大学院に在籍するおよそ5000名の学生が学ぶ場となっております。東京ドーム約6個分という広大な敷地を活かし、「物創り工房」や「バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター」など多くの研究施設を設置しています。数学・物理・英語などの基礎科目に対応した「学習支援室」や留学、海外インターンシップ、語学学習などについて支援する「グローバルコミュニケーションスペース（GCS）」などの学習施設も設置しています。また、部活動、サークル活動も盛んで、川越だけで50以上のサークルが活動しています。

その一方で、陸上競技場やラグビー場、野球場など各種グラウンドを備え、2018年3月には国内では珍しい屋内走路を併設した体育館を新築いたしました。また「大越記念庭園」や新西門から始まる「こもれびの森」等の豊かな自然を持つキャンパスでもあります。

その他、川越市と協力して行っている地域連携プログラムや一般の方に参加いただける「オープンカレッジ」、「こもれびの森・里山支援隊」など学外と協働した事業も行っております。

MAP



ACCESS

■池袋駅から東武東上線で急行38分
鶴ヶ島駅下車 徒歩10分

お問い合わせ先

ご案内事項		取扱い窓口	連絡先
●教務関係			
履修・成績・試験・学籍	教 学 課	mlkawakyo@toyo.jp	
教職・各種証明書			
●学生生活関係			
奨学金・クラブ・サークル活動	教 学 課	mlkawagak@toyo.jp	
学生相談室			
医務室（健康管理）			
アルバイト ※	㈱ナジック・アイ・サポート	03-5466-1236	
下宿・アパート ※	㈱ミニミニ城北	049-228-8832	
※川越キャンパスでは業務委託をしております。			
●就職関係			
求人受付	教 学 課	mlkshushoku@toyo.jp	
就職相談			
●学費・入試関係			
学費	総 務 課	mlkawaso@toyo.jp	
入試関係	教 学 課	mlkawanyu@toyo.jp	
●図書館関係			
図書館川越	図 書 館	mlkawagoelibra@toyo.jp	
●キャンパス代表			
その他上記以外のお問い合わせ	総 務 課	049-239-1300	

板倉キャンパス

〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1

生命科学部・食環境科学部
大学院（生命科学研究科・食環境科学研究科）



敷地：33万1,963㎡／校舎：3万4,279㎡

MAP



ACCESS

■池袋駅からJR宇都宮線（湘南新宿ライン） 東武日光線で72分
北千住駅から東武スカイツリーライン 東武日光線で63分
板倉東洋大前駅下車 徒歩10分

板倉キャンパスには現在、生命科学部と食環境科学部の2学部、大学院生命科学研究科と食環境科学研究科の2研究科が設置されており、約1700名の学生が勉学に励んでいます。

キャンパスには多くの実験設備や学習環境が整えられており、中でも5号館は「シーズ（生命の種）」をモチーフとしたガラス張りのモダンな設計となっています。36の実験室、10の共通機器室には最新の実験機器を設置しており、学生・教員が日々、研究活動に励んでいます。また、3号館には管理栄養士を目指す学生向けに給食経営管理室等が設置され、一度に約1000人分の大量調理が可能な設備等も揃っています。

新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、昨年度は感染防止対策として多くの授業を非対面（遠隔）形式で実施しましたが、板倉キャンパスは理系の学部・研究科が集うキャンパスであり実験・実習科目が多いことから、今年度は一部に非対面（遠隔）授業も実施しつつ、多くは原則通常の対面形式で行ってきました。

これに伴い、学生・教員それぞれにフェースシールドの配布や、学生食堂にはアクリルパーティションを設置するなど、十分な感染防止対策を講じた上で学生を迎え入れています。

なお、既にお知らせしている通り、板倉キャンパスで教育・研究活動を展開していくのは2023年度までとなります。

お問い合わせ先

ご案内事項		取扱い窓口	連絡先
●キャンパス代表		板 倉 事 務 課	東洋大学ホームページ 「お問い合わせ窓口」から https://forms.gle/X6krNqZkCpb5zitB7
●教務関係			
生命科学部	板 倉 事 務 課		
食環境科学部			
大学院			
●学生生活関係			
奨学金	板 倉 事 務 課		
サークル活動			
学生相談室	学 生 相 談 室		
医務室（健康管理）	医 務 室		
●就職関係			
就職活動	板 倉 事 務 課		
●国際交流関係			
海外留学	板 倉 事 務 課		
●学費等関係			
学費	板 倉 事 務 課		
●図書関係			mlitalib@toyo.jp
図書館	図 書 事 務 課 (板 倉)		

赤羽台キャンパス

〒115-8650 東京都北区赤羽台1-7-11

情報連携学部
ライフデザイン学部
大学院（情報連携学研究科）
（ライフデザイン学研究科）



INIAD HUB-1



WELLB HUB-2

敷地 約20,000㎡ 校舎 約41,300㎡

MAP



ACCESS

■JR赤羽駅下車 徒歩8分

東京メトロ南北線赤羽岩淵駅下車 徒歩12分

赤羽台キャンパスの最寄り駅、JR赤羽駅は、都心のみならず、横浜、大宮ほかの主要地点からのアクセスにも優れています。駅からは近いながら、駅周辺の喧騒から離れ、住宅街の落ち着いた環境の中にあります。

情報連携学部（Information Networking for Innovation and Design：通称INIAD）では、コンピュータ・サイエンス教育を基盤とし、チームを組んでコンピュータを使いこなし、情報を通して連携し、素早くアイデアを形にできるような人材を養成しています。

INIADの多くの授業は、少人数教室でのディスカッションやチーム学習を中心に行なっており、また、従来の教室とは異なり、黒板もホワイトボードもありません。学生は各自自分のパソコンを大学に持参して、インターネットを通じて、事前に配布される教材や授業で出た課題に取り組んでいます。

また、本のない図書館であるメディアセンターで、学生は電子ブックや電子ジャーナルで調べものをしたり、グループで集まって学習したりしています。学生には必要な情報を、紙の掲示板ではなく、すべて校舎内のデジタルサイネージやメール等でお知らせしています。

INIAD専用の校舎INIAD HUB-1は、最先端のIoTビルディングで、建物自体がIoT教材でもあります。教室や部室の鍵や照明、空調、ロッカー、エレベーター、各種のセンサーなどの様々な設備がインターネットに接続され、学生を個々に識別するだけでなく、学生は定められているルールの範囲内で、自分たちの環境をプログラミングによってより使いやすくしていくことができます。

また、2021年4月より朝霞キャンパスから移転したライフデザイン学部・ライフデザイン学研究科では、人々の生活に深い関わりをもつ福祉や保育、健康、デザインにより社会貢献を行う高い意欲を有する人材を養成しています。

地下1階、地上9階建ての新校舎（WELLB HUB-2）は、学部の特色でもある専門職に向けた諸資格取得のための実習設備が完備され、より実践的な知識や技術を学ぶことができます。例えば、介護技術の授業のための介護実習室、入浴実習室、調理実習室などや、保育士、幼稚園教諭の授業のための保育実習室、音楽実習室、ピアノ練習室、デザインや制作などの授業や演習で使用する実験工房には各種演習用の工作機械室や学生が作業できるアトリエスペースが設置されており、ものづくりに専念できる環境を整えています。

さらに、教育・研究環境のさらなる拡充に向けて、2023年には健康スポーツ科学部（仮称）の各種実験・実習施設やアリーナ、学生食堂、学生サークル部室等を備えた体育館棟と、30万冊の蔵書や学生同士のディスカッションが可能なグループ学習室、個別学習室などを備えた図書館棟が竣工予定であり、当キャンパスの一層の発展が期待されます。

お問い合わせ先

お問い合わせはEメールでお願いいたします

ご案内事項	取扱い窓口	Eメールアドレス
情報連携学部	赤羽台事務課	ml-iniad-fs@toyo.jp
ライフデザイン学部		mlakyo@toyo.jp

学部紹介

文学部

Faculty of Letters

文学部には、哲学科、東洋思想文化学科、日本文学文化学科、英米文学科、史学科、教育学科、国際文化コミュニケーション学科の計7学科があり、広範な領域で教育・研究が展開されています。1928年に東洋大学は、大学令により「大学」として正式に認可されましたが、そのとき唯一設置されたのが文学部です。戦後は総合大学となり、学部新設と改組が続きましたが、それに呼応して文学部も、グローバル化や、多様な社会的ニーズに応じて変容してきました。しかし、そこに通底する目標は、「ことば」を通じた真理の探求であり、読む・書く・考える力を養成し、着実に「ものの見方・考え方・表現の仕方」を身につけることにあります。現在でも、少人数で学ぶ演習（ゼミナール）などを通してきめ細かな教育を通して、より深く専門分野を探究し、十分な語学力や幅広い教養を備え、社会のどんな分野でも、また、世界のどんな地域でも活躍できる人材を育成しています。

経済学部

Faculty of Economics

経済学部は、文学部に次いで二番目に古い歴史を持つ伝統ある学部ですが、常にその時代の先端を見つめ「経済学のいま」を深く追究する先見性が豊かな学部でもあります。現在、経済学部には、経済の理論と実証を徹底的に学ぶ経済学科、国際的な経済活動の把握と解明に重点を置く国際経済学科、日本の現実の社会・経済が抱える問題を深く考える総合政策学科、時間を有効に活用して経済学を学べる経済学科（イブニングコース）と学生のニーズに対応した多種多様な4学科で構成されています。

経済のグローバル化が進展する中、異常気象に代表される地球環境問題、飛躍的なIT技術の革新による社会構造の変貌など、これまでにない大変化が社会・経済に起こっています。本年度から実施される2021カリキュラムは、こうした経済・社会の複雑性・多様性に対応した科目配置となっており、現在の経済・社会が抱える諸問題を理解し改善する方策を提示できる人材を育成してまいります。

経営学部

Faculty of Business Administration

経営学部では、学生、教職員、関係者の健康と安全を第一として、コロナ禍に対峙してまいりました。ほぼ全面的に非対面授業となった2020年度は卒業率、就職率ともに例年と変わらず、公認会計士や中小企業診断士などの難関資格試験においても合格実績を維持することができました。学生は大学が提供するオンライン講座等を活用しながら、困難のなかでもたゆまぬ努力を継続してくれたものと思っています。

2021年度秋学期からは次第に対面授業を復活させています。保護者の皆様におかれましては、コロナ禍への不安と、対面授業を望む声と双方のなかでご心配をおかけ致しましたが、この経験で得たメリットを活かし、より学修の成果があがるよう尽力して参ります。2022年度からは対面授業を基本として実施する予定です。

多数の皆様から学部指定のご寄付を頂戴いただいていることにも篤く感謝申し上げます。ご寄付は学生の学びに確実に還元してまいります。

法学部

Faculty of Law

法学部には、第1部法律学科、企業法学科、第2部法律学科が置かれており、約2700人の学生が学んでいます。第1部の両学科では、各人の興味関心、将来の希望に応じた科目を履修する「履修モデル」を3コースずつ設定しています。第2部法律学科では、社会人学生も在籍していることから、様々なニーズに応えることができる教育課程表となっています。

法学はいわゆる「実学」であり、大学で学んだことは仕事、日常生活で活かせるだけでなく、様々な資格試験、検定試験にもつながります。法学部では、各種資格試験、検定試験を見据えた授業科目を開設しているほか、合格者を表彰し、受験を推奨しています。

また全学の国際化に向けた方針の下、学部独自の海外研修を用意しています（本年度はコロナ禍により一部の研修を中止）。英語・初習外国語の授業については、4年間継続して履修できるほか、外国語による授業も開講し、国際志向の学生のニーズに応えています。

社会学部

Faculty of Sociology

社会学部は1959年に発足して以来、理論・実証・実践を柱に教育体制を構築してきました。社会学の理論的な知識を学び、社会の諸問題を調べるための実証的な方法を身につけ、研究成果を社会に役立てるための実践的活動を行うというものです。発足当時の第1部2学科と第2部1学科の3学科体制から、現在の第1部5学科と第2部1学科の6学科体制に至るまで、この柱は変わっていませんが、社会で生じる問題が時代とともに多様化し増大してきたことに応じて、学部も拡大の一途をたどってきました。

学部教育の具体的な特長としては、実証的方法を学ぶための「実習」の充実をあげることができます。全学科に共通する「社会調査および実習」に加え、学科ごとに独自の实習科目を置いており、学生のみなさんが受け身の姿勢ではなく、自ら進んで調査や観察、実験などを計画して実施し、結果の報告を行うという、「アクティブラーニング型」の学修に力を注いでいます。

また、国際社会への関心を高めるための学習プログラムも充実させています。

国際学部

Faculty of Global and Regional Studies

2017年度に新設された国際学部は今年度で5年目を迎え、3月に初めての卒業生を送り出すことができました。グローバルな視野を持ち、社会において何か新しいものを作り出していく（イノベーションを創出する）、あるいは地域の発展にさまざまな形で貢献しうる人材として、今後の活躍を期待しているところです。

本学部では、留学生と学ぶグローバルな教育環境を整えるとともに、海外留学やさまざまな研修、フィールドワークを実施するなど実践的な教育プログラムを展開してきました。コロナ禍においては海外や学外に出て行うこのような教育プログラムは中止やオンラインでの実施となっておりましたが、この夏より海外への学生の派遣を一部再開するとともに、学外でのフィールドワーク等も再開しつつあります。コロナ禍において培ったオンラインでの取り組みの長所も踏まえつつ、さまざまな工夫を凝らしながら先導的なグローバル教育を展開していきます。

国際観光学部

Faculty of International Tourism Management

本学部では、理論と実践の両輪を備えた観光分野の教育を念頭に置き、観光政策・ツーリズム・ホスピタリティなど多彩な角度から観光を学べる充実したカリキュラムを用意して、国内外の観光の現場でマネジメントができる人材の育成を目指しています。

国際観光は、コロナ禍という百年に一度あるかないかのできごとに見舞われ、昨年以来大変辛い時期を経験しています。ただ、この外出自粛が続いた生活を初めて体験した私たちは、旅することが人生にとってなくてはならないものであるかを実感したときでもありました。人類の長い歴史は、まさに旅することで形作られてきたともいえます。世界の空港が人々であふれ、従来のにぎやかさを完全に取り戻すには2023年になるといわれていますが、どこかへ出かけたいと想うこと、旅することが人間の本能である限り、時期が来たら即戦力として観光の世界で通用する人材を、教員一同不断の努力を惜しまずに育てているところです。

国際地域学部

Faculty of Regional Development Studies

当学部は、1997年4月に板倉キャンパスにおいて1学部1学科体制で創設されました。その後国際観光学科を組み入れ、2009年に白山第2キャンパスに移転後は国際地域学科地域総合専攻を設置し、1学年約600名の学生を要する学部へ発展しました。さらに、2013年に白山キャンパスに移転するとともに、2017年4月に国際地域学科は国際学部へ、国際観光学科は国際観光学部へと2つの新しい学部へ発展しております。すでに多くの学生が卒業しており在学学生も少なくなっておりますが、国際学部および国際観光学部において履修の指導など、在学学生のサポートを続けております。

ライフデザイン学部

Faculty of Human Life Design

ライフデザイン学部は「人とその生活」の学び舎であり、現在世界的に推進されているSDGs（国連による持続可能な開発目標）達成への貢献が期待される学部です。2021年4月に赤羽台キャンパスに移転し、行政や地域の団体等と協働しながら様々な教育・研究活動を展開しています。

本学部は、高齢者・障害者・低所得者などの支援を行うソーシャルワークや子育て支援の方法を学ぶ生活支援学科、人々の豊かな生涯生活を実現し、健康を維持・増進のためのスポーツ活動に関する知識と技術を学ぶ健康スポーツ学科、ユニバーサルデザインを軸とした、人の生活環境・空間・製品に関する「モノとコト」のデザインを学ぶ人間環境デザイン学科の3学科で構成されています。2023年には、新たに福祉社会デザイン学部・健康スポーツ科学部の2学部へと再編し、人の生活に資する学びのさらなる発展を目指しています。

理工学部

Faculty of Science and Engineering

理工学部は、1961年（昭和36年）川越キャンパス開設に合わせて設置された工学部を前身に、2009年（平成21年）の再編により誕生しました。機械工学科、生体医工学科、電気電子情報工学科、応用化学科、都市環境デザイン学科、建築学科の6学科に約3,500人の学生が学んでいます。

教育の特色の一つに学習支援体制が充実していることが挙げられます。理工学分野の基礎となる数学・物理をはじめとした科目でのつまづきを防ぐため、元高校教員のスタッフを常駐させた学習支援室を設置し、日常的に学びのサポートを行っています。また、エンジニア教育の充実のため、大学院との接続も積極的にすすめています。

グローバル化の進展により留学生数も増加し、国際色豊かなキャンパスになりました。英語教育にも力を入れており、グローバル・コミュニケーション・センター（GCS）によるTOEIC対策や留学サポートにも積極的に取り組んでいます。

生体医工学科は2024年4月から生命科学部に合流し、朝霞キャンパスにて教育を行います。

総合情報学部

Faculty of Information Sciences and Arts

総合情報学部は、1学部1学科3コース制で、定員は260名です。文系/理系という枠組みにとらわれず人文・社会・自然科学3つの分野を横断的に学べる点が特徴です。システム情報コースでは、AI・システム開発系とデータサイエンス系の2系統で教育を実施しています。心理・スポーツ情報コースでは、公認心理資格に対応した専門性の高い心理やスポーツ心理学が学べ、スポーツではNSCAのパーソナルトレーナー・ストレンクス&コンディショニングスペシャリストやスポーツデータアナリストを目指せます。メディア文化コースでは、最先端のコンピュータグラフィックスの基礎・応用からCGプログラミングまで段階的に学びます。映像・画像・動画・音声などの様々なメディアによる実践的な制作と最先端の課題に取り組みます。学部独自のITカウンセリングメンタルトレーニングルームでは、資格、進路、授業、心理やスポーツに関する相談を行っています。また、学部独自のSGUルームを開設し、英語、中国語、日本語の3か国語でのコミュニケーションを体験できる場を提供しています。ネイティブ学生（留学生・帰国子女等）・教員との交流、外国語学習・会話の練習・留学や渡航相談を行っています。

生命科学部

Faculty of Life Sciences

バイオテクノロジーは生命現象の仕組みを解明してその機能を社会に還元・実装する技術であり、理学・農学・工学・医学などで発展してきたバイオテクノロジーを統合したものが「生命科学」です。東洋大学は1997年4月、他大学に先駆けてこの領域の重要性に着目して生命科学部を誕生させ、今年で25年目を迎えます。

今、生命を脅かす急激な環境変動や新たな病原微生物感染症の全世界的流行など“いのち”をとりまくさまざまな問題がクローズアップされ、このような課題に対して、生命科学分野からの貢献が期待されています。生命科学部は、生命現象の謎を遺伝子レベル、細胞レベル、個体レベル、生態系レベルで明らかにし、学んだ知識と技術を用いて、医療・環境・農・食・教育などの分野で社会の発展に貢献できる人材育成を目指します。

2024年4月の朝霞キャンパス移転と同時に学部改組を行い、生命科学科、生体医工学科、生物資源学科の3学科体制になる予定です。

食環境科学部

Faculty of Food and Nutritional Sciences

板倉キャンパスでは、1997年に生命科学部が創設され、当初は生命科学科のみでスタートしました。2009年には、応用生物科学科と食環境科学科が創設され3学科となりました。2013年には、新たに「健康栄養学科」を設け、生命科学部から分離した食環境科学科とともに、「食環境科学部」が発足しました。

食環境科学部が開設された社会的背景はいうまでも無く「食と健康」です。平均寿命の延長と出生率の長期的な低下により、2050年には、高齢化率が40%となる超高齢社会を迎えるとともに、食生活の多様化による食習慣の乱れや運動不足による生活習慣病が増加し、食と健康に関わる問題がクローズアップされています。

そこで、食環境科学部では、食品の機能科学や栄養・健康科学を総合的に探究し、これを高度な栄養指導に発展させ、生命と健康、食の安全に係る分野で活躍できる人材を育成し、国民が生涯にわたり健康で明るく、活力ある生活が送れる社会づくり、国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現、平均寿命の延伸に貢献しています。

2024年には、朝霞キャンパスに移転予定であり、SDGsにも対応した更なる強化策を検討中です。

情報連携学部

Faculty of Information Networking for Innovation and Design

情報連携学部（Information Networking for Innovation and Design：INIAD）では、文理の枠を超えて、ネットワーク時代に対応した、新しいイノベーションを起こせる人間を創出することを目的としています。

1年次ではすべての学生がプログラミングとコミュニケーションを集中的に学び、チームを組んでコンピュータを使いこなし、情報を通じて連携するための素地を身に付けます。

2年次からは情報連携エンジニアリング、情報連携ビジネス、情報連携デザイン、情報連携シビルシステムの4分野に分かれて専門分野を学びますが、3年次には多様な専門分野をもった学生たちが、社会に出たときのように協力し合い、モノやサービスを作るというコース横断の連携実習も行っています。

さらに、最先端のIoTビルである赤羽台キャンパスと、社会や企業等との連携によって、学生がチャレンジできる環境を整え、創設者井上円了先生が掲げた教育理念である、自分で考えて行動できる学生を育てていきたいと考えています。



国際部の 窓口から

日本人学生と外国人留学生が共に生活し、 成長を促進する国際交流宿舍

国際部 部長 高橋 清隆

一昔前には、学生の自治による学生寮が多数あり、そこで過ごした4年間は人格形成や交友関係の面で大きな役割を果たしていました。寮長がいて、寮歌もあり、全国から集う寮生たちとの生活により、一生涯の友人を得ることができました。しかしながら、近年は都内に通う学生の大多数は自宅から通学するため、学生寮は少なくなり、その存在意義が小さくなってきています。

国際化の進展により、日本企業は原材料の輸入に留まらず部品の生産や完成品も海外で生産するようになり、今回のコロナ禍による部品調達の遅延が日本経済全体に影響を与えるほど、その規模は大きくなっています。このことから分かるように、国際人の育成は本学のみならず日本全体に課せられた大きな課題となっています。単に英語をはじめとする外国語能力が高いということだけではなく、日本と異なった文化やその文化に紐づく考え方を理解し、受け入れることのできる能力、また自分の考えを正しく、力強く伝える能力も必要です。このような力は一朝一夕に身に付くものではないので、理想的には1セメスターから1年間の海外留学による経験を踏まえ、時間をかけて自分のものにして欲しいと願っていますが、日本国内において疑似的な留学経験を国際交流宿舍内で得ることができます。

2022年1月20日に赤羽台キャンパスに新しい国際交流宿舍が竣工しました。建物の名前はAI-HOUSE Hub-4（アイハウス ハブフォー）、一般個室が288室、バリアフリー用個室4室、研究者用個室1室、共有の施設設備として、学習室、多目的スタジオ、音楽室、キッチン、シャワー室、トイレ、ランドリー室等を配置しています。また、授業期間中は、月曜日から金曜日までの朝食と夕食が提供されます。Google本社、楽天本社を始めとする多数の企業や学校の食堂に食事を提供している企業が、美味しさと健康面を重視し、品数の多い栄養に豊かな食事を提供します。寮の管理は専門の企業が担い、住込みの管理人夫妻と夜間は警備員が

居住者の安全を守ります。

そして、この宿舍の大きな特徴は、学生の成長を促進する仕組みがあることです。レジデント・アシスタント（RA）と呼ばれる学生を配置し、居住する学生の生活全般をサポートすると同時に、RAが毎月イベントを企画するので、日本人学生と外国人留学生が一緒に参加することにより、異文化理解を通じた問題解決やチームワーク力を身に付けていきます。更に、外部講師を招いた特別セミナーやワークショップも開催しますので、宿舍に居ながら幅広い視点で物事を考えられるようになります。

この「AI-HOUSE Hub-4」の「アイ」には、「会い」「合い」「間」「藍」「愛」「哀」など様々な意味を込めています。本学のスクールカラーである濃紺の藍色、この国際交流宿舍で様々な学生が出会い、異文化に合わせてたり間を取ったりしながら、愛すべき生涯の友情が生まれ、退寮するときには互いに哀しみあう、このように一人一人の学生の歴史を紡ぎ出していく国際宿舍を目指しています。

本学のホームページ「国際交流」サイトにて宿舍の情報と入寮申し込みを行っていますので、是非ご覧願います。

<https://www.toyo.ac.jp/contents/international-exchange/residence/index.php>





「本学における経済支援の概観」

学生部学生支援課 課長 笠原 隆

新型コロナウイルス感染症による経済への影響が続く中、大学における支援の在り方も常に変化を求められています。ここでは本学学生に対する国の支援や本学奨学金等の経済支援の概観をご説明いたします。

現在、日本の大学における経済的な学生支援の中核となっているのは、2020年4月に運用が始まった国による高等教育の修学支援新制度（以下、「新制度」）と、日本学生支援機構（以下、「JASSO」）の奨学金です。新制度は大学による授業料等の減免と、JASSOによる給付型奨学金の2つの支援で構成されています。本学においても約2,300名が新制度を受給しています。従来からあるJASSO貸与型奨学金の利用者と併せると、本学の学生の3人に1人が新制度または貸与型奨学金、もしくはその両方を利用していることになります。

現在、これらの支援を受けていない方も、新制度とJASSO貸与奨学金が、保証人の失業や事故・疾病などに伴う家計急変の際に利用できる可能性があることは覚えておかれると良いでしょう。

新制度とJASSO貸与奨学金は、JASSOによる家計基準の審査と大学による学業成績基準の判定で採用が決定します。出願から採用・受給までに最低でも2～3ヵ月程度を要しますが、採用されれば家計・学業成績の要件を充たすことで、最長で卒業まで支援を受けられますので、学資の工面を中長期的に見通すことができるようになります。

ただし、新制度は前年の世帯収入による課税状況に基づき毎年夏に見直しながされるため、支援額変更の可能性がある点には特に注意が必要です。予期せず支援を得られない状況（支援対象外）となる場合があります。この点について本学では、甫水会に協力をお願いし、支援対象外となった甫水会会員のご子息・ご息女に対し、甫水会より「甫水会経済支援奨学金」（15万円）を給付いただく救済策を実施しております。

この甫水会との連携も一例となりますが、本学では、新制度とJASSO貸与奨学金を中心にした公的な中長期の経済支援を、短期的な経済支援で迅速に補完することを目指し、各種制度の整備を図っております。

【経済的修学困難者奨学金「エール」】

経済的に修学が困難な学生に対する学資補助のための奨学金で、採用年度に限り所属学部等に応じて10～25万円を給付します。2020年度まで東洋大学第2種奨学金として運用していましたが、新制度の開始に伴い給付額や学業成績基準などを変更しました。経済的な不安がある場合に、まずは4月にJASSO奨学金（新制度）に出願し、採用状況に応じて奨学金「エール」に出願（6月末頃）できる仕組みとしております。

【奨学金「RIBBON」による生計維持者失職に対する緊急支援】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生計維持者（父/母）が失職した際に、学資補助を目的として所属学部等に応じて10～25万円（採用年度のみ）を給付します。校友会・甫水会・役員・教職員をはじめとする皆様からの寄付を原資とします。経済的にも精神的にも先の見えない不安の中にいる学生と、寄付者の支援を結びたいという思いが、奨学金「RIBBON」の名称に込められています。

【生計維持者の逝去に伴う奨学金】

生計維持者（原則父母）の逝去に伴い家計急変に見舞われた学生を対象に、採用年度の授業料半額相当額を給付します。

【特別被災奨学金】

災害により生計維持者（原則父母）の住家に被害を受けた学生を対象に、被災状況に応じて当該学期学費の1/3～全額相当額を給付します。

【民間団体・地方公共団体等奨学金】

各団体から本学への依頼の都度、「民間団体・地方公共団体等奨学金の募集について」という形で学内情報システムを通じて学生に募集情報を提供しています。奨学金額や募集時期、応募条件等は奨学金により異なりますが、概して各奨学金の採用人数は少なく、狭き門となっています。大学へ案内のない各自治体が運営する奨学金や貸付等もありますので、お住まいの自治体にお問い合わせください。

【各種教育ローン】

奨学金は学生本人が受給するものであるのに対して、教育ローンはご父母が金融機関等から融資を受けるものであるという点に違いはありますが、学資を計画的に確保するため、国（日本政策金融公庫）や本学提携金融機関による教育ローンについても状況に応じてご確認ください。

各キャンパスの学生生活担当窓口では、本学の奨学金制度だけでなく、総合的な経済的支援をご提案できるよう引き続き努めてまいります。

本学奨学金等の詳細はホームページをご確認ください。

東洋大学ホームページ＞学部生対象の奨学金

<https://www.toyo.ac.jp/academics/student-support/award/gakubu/>

はじめに

平素より、就職・キャリア支援部の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年も新型コロナウイルス感染防止のため、各キャンパスおよび全国各地での父母懇談会はオンラインでの実施となりました。多くの皆様のご参加にお礼申し上げます。

さて新型コロナウイルスの影響は、今年も大学生の就活にも大きな影響そして変化を与えております。対面式の合同企業説明会等の中止や延期が相次ぐ一方、説明会や選考をオンラインへ切り替えるケースが普通になり、学生によっては「内定を得るまでのすべての選考がオンライン」という場合も珍しくなくなりました。2年前までは考えられない急激な変化です。

またコロナ禍による落ち込みが懸念された有効求人倍率は、コロナ禍前の一昨年は1.83倍、昨年は1.53倍、今年が1.50倍と、こちらは下げ止まった感があります。今後の経済状況にもよりますが、企業の採用意欲は一部を除いて衰えておりませんので、次年度も求人倍率が大きく落ち込む事はないのでは?と推測しております。

こうした状況を踏まえ、就職・キャリア支援部としては、今後も変化に素早く対応した支援の構築を心がけますので、よろしくお願い申し上げます。

なお支援行事等のお知らせは、学生向けポータルサイト「ToyoNet-GやToyoNet-ACE」、掲示・学内放送・DMなどで行っています。以下、主な支援の概要を学年毎にご紹介します。（※以下は原稿を執筆している11月下旬現在の予定となります）

4年生の就職支援について

コロナ禍の影響で、今年度も就職相談や各種対策講座、企業説明会といった主な支援行事は、オンラインで実施しております。

特に

- ①本学求人サイト（求人ナビおよびキャリアタスUC）の求人情報の活用
- ②学内の各種求人イベントの活用
- ③各キャンパスの就職相談員や職員による個別相談の利用をお勧めします。

例年3月の卒業式前後に内定を得る学生もおりますので、最後まで諦めず、粘り強く活動を続けましょう。

3年生の就職支援について

3年生についても、今年度の支援行事はオンラインを使用します。

就活本番前の大切なセミナーになりますので、オンラインの良さを活かした内容に出来ればと考えております。

主な支援行事としては

- ・就職活動支援セミナー（全5回）
 - ①就活の流れを知ろう
 - ②自己PR編 ③ガクチカ編
 - ④企業（公務員）研究・志望動機編
 - ⑤グループワーク・ディスカッション面接対策編
- ・業界理解セミナー（業界を代表する企業・団体（公務含む）55社・団体が参加予定）
- ・合同企業セミナー（約350社が参加予定）

といったものがあり、それと並行して「業界別選考対策講座」「内定者による就職情報共有会」「地方就職ガイダンス&自治体別相談会」「模擬グループディスカッション・模擬面接対策」「SPI模擬テスト」等々の多様な支援行事も実施しております。

これらのセミナーに参加することが、就活を乗り切る準備になるとともに、これから社会で働くための準備にも、きっと役立つと思います。

1・2年生の就職・キャリア支援行事について

低学年のうちから将来の自分のキャリアを考え、そして就活をスムーズに進めるための参考になるよう、いろいろなセミナーをオンラインで配信しております。

以下はセミナーの一例です。

- ・1年生のためのキャリアガイダンス
- ・2年生の今から始める就活支援セミナー
- ・イノベーションを生む働き方とは
- ・30分でわかる。就活準備
- ・業界理解基礎セミナー

これ以外にも多彩なプログラムを順次配信する予定です。授業の合間で結構ですので、ご活用いただければ幸いです。

今後も世の中の変化に対応したタイムリーな支援、学生個々に寄り添った支援を一同心がけますので、引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

毎年、納付金の納入にご協力いただきましてありがとうございます。
納付金について、毎年多くお問い合わせいただく内容を中心に説明します。

I 納付金の納入方法と時期

在学中の納付金振込用紙は、4月下旬頃に次の学年に必要な金額を記載し、郵送します。

①振込用紙の送付先

第1部 ……保証人住所

第2部 ……入学時に選択した本人または保証人住所

転居等により送付先の変更を希望される方は、3月末までに、学生本人を通して届け出てください。

②納付金の納入方法

納付金は全額一括納入（全納）と授業料・一般施設設備資金・実験実習料・教育充実料を年2回に分割する分割納入（分納）を選択できます。

雨水会費（第1部の学生のみ）・学生課外活動育成会費は原則として春学期に徴収します。

分割納入（分納）を選択された方の秋学期用の振込用紙は9月末頃に大学より郵送します。

本学では納入方法として、銀行振込とペイジーでの納入を推奨しています。

金融機関ATMやインターネットバンキングからのお振込も可能ですが、振込用紙および同封の案内文に記載の注意事項をよくご確認ください。

なお、大学窓口での現金による受付は行っておりません。

③納入期間

春学期 ……4月20日～5月31日

秋学期 ……10月1日～11月10日

納入締切日が土日祝日等で銀行営業日でない場合、変更となる場合があります。振込用紙に記載の納入期間を必ずご確認ください。納入期間および振込用紙の発送時期が変更となる場合があります。事前にHP等でお知らせしますのをご確認ください。

※修学支援新制度の利用者（申請中も含む）やその他の減免奨学金の対象者は、納入期間を変更することがあります。事前にHP等でお知らせしますのでご確認ください。

II 学籍異動に係る納付金について

休学・原級（留年）・退学等、学籍異動時には必要な納付金が変わります。

なお、休学・退学により徴収対象外となる学費がある場合は、返金いたします。

休学……各学期期首付での休学が認められた場合、一般施設設備資金の半額と、その他の費用を納めていただきます。

原級（留年）……4年生で原級（留年）する場合、当該年度の正規4年生の納付金と同額になります。そのため、

前年度までと学費の金額が変わる場合があります。原級された後は、納付金の納入は学期ごとになります。

退学……各学期の納入期間内に退学の手続きが完了した場合、全学期末付での退学となり、納付金を納入する必要はありません。

なお、学籍異動の「許可願」が受理された日より学籍異動の効力が発生する日付が異なります。

申請手続きについて、ご不明な点は、各学部教務担当課にお問い合わせください。

III よくあるご質問

よくあるご質問を納付金に関するHPにまとめてご紹介しております。

納付金に関するQ&A：<https://www.toyo.ac.jp/academics/student-support/jyugyou/campuslife/faq/>

※ページ右下のQRコードからもアクセスいただけます。

IV 納付金についてのお問い合わせ先

振込用紙の未着や紛失、支払額の詳細など納付金に関するお問い合わせやご相談はテレフォンガイドを参照願います。
また、東洋大学HPでも詳細をご覧になれます。

納付金（学費等）：<https://www.toyo.ac.jp/academics/student-support/jyugyou/campuslife/>

※ページ右下のQRコードからもアクセスいただけます。



甫水会活動

2020年度甫水会活動報告（2021年度評議員会資料抜粋）

2020年度事業報告

東洋大学においては、2020年度以降東洋大学が進化していくためには、その環境に適切に対応していくための叡智を教育研究の中で見出し、新たな時代に求められる人材を大学がどのように育成し、その役割を果たしていくかが問われています。

東洋大学甫水会は、1959年1月父兄会とし、設立されてから今日に至るまで、「東洋大学学生の父母又は学生の保護者相互間の連絡を密にし、大学の興隆発展に協力するとともに、大学と協力して学生の心身の健全な発達を図ること」を目的としており、2020年度で創立61年目を迎えました。

甫水会として大学の掲げる目標及び事業を支援するとともに、会員とご子息ご子女各位にとって、実り多きものとなるように、2020年度も引き続き、大学との「協働」「連携」の基本方針のさらなる充実を目指して、甫水会の事業を展開してまいりました。

以下、2020年5月の評議員会で承認された事業計画に基づき、大学との協働及び連携のもと執行した事業実施概要を報告いたします。

本部事業関係

1. 諸会議及び行事

【諸会議】

(1) 評議員会

会則第21条に基づき開催され、新型コロナウイルス感染症の影響により、同25条第3項に則り、書面による回答形式（書面会議）で、2020年5月23日に次のとおり開催した。

- ① 評議員定数75名中、71名回答
- ② 非対面式（書面式）会議開催、議事録署名人2名を選出
- ③ 議案は2019年度事業報告や2020年度事業計画等について審議した。

なお、評議員会に先立ち、地区長理事には第2回理事会追加審議事項「その他議案 新型コロナウイルスによる家計急変に対する支援について（お願い）」を審議した。

(2) 理事会

常任理事と地区長理事で構成され、会則第8条に基づき、開催された。

- ① 2019年度 第2回理事会 2020年4月16日開催
(書面会議)
- ② 2020年度 第1回理事会 2020年11月7日開催
(対面及びWEB会議併用)

(3) 常任理事会

会則第9条に基づき、月1回の定例会議を開催し、業務を執行した。

2019年度	第9回常任理事会	2020年4月11日
	第10回常任理事会	2020年5月9日
2020年度	第1回常任理事会	2020年6月6日
	第1回臨時常任理事会	2020年7月4日
	第2回臨時常任理事会	2020年8月1日
	第2回常任理事会	2020年9月5日
	第3回常任理事会	2020年10月10日
	第4回常任理事会	2020年11月7日
	第5回常任理事会	2020年12月5日
	第6回常任理事会	2021年1月9日 (Web開催)
	第7回常任理事会	2021年2月13日 (Web開催)
	第8回常任理事会	2021年3月6日 (Web開催)

(4) 常任理事会内委員会

必要に応じて委員会を開催し、業務を執行した。

(5) 役員選考委員会

会則第6条に基づき、全国56支部より選出し、次期役員候補者を選考するため、2021年1月16日に開催した。

(6) 地区別支部長会議

会則第39条に基づき、例年、地区長主催で全国10地区において本部・支部活動の円滑な連携と地区の活性化を目的とし開催していたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため2021年2月20日にWebにて全地区合同で開催した。

(7) 全国56支部長研修会

2020年9月12日(土)に、新型コロナウイルス感染症の影響のためWebにて開催した。

本部主催で全国56支部長(代理含)の参加による「甫水会諸規程」および「支部関係業務処理に関する取扱い」を主とした研修を行った。

(8) 地区別支部長懇談会

本部主催のもと、本部・支部の連携強化を目的とし、2020年10月に全国10地区へ本部役員が出向し、開催した。

【行事】

(1) 父母懇談会での協働

① 各キャンパス(白山、川越、朝霞、板倉、赤羽台)で大学職員による「履修・成績及び学生生活・就職」等についての説明・面談を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、急遽オンライン上での開催となった。

WEB父母懇談会特設サイトの公開	7月31日～8月16日
個別質問受付	8月8日～8月16日
個別質問回答	8月31日～9月7日

② 関東地区以外の支部についても、WEB父母懇談会の開催となった。

(2) 会員の集い・就職フォーラム

会員相互の親睦を深め、就職関係の充実を図ることを目的とし、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響に

より、オンラインにて開催した。動画配信期間は11月8日～11月30日、また12月23日～翌年1月21日に追加公開した。合計2,452名視聴された。

2. 学生支援諸制度

(1) 奨学生制度

① 家計急変者対象（従来の甬水会奨学金）

「奨学生規程」に基づき、会員が不測の事故等で家計が急変し、修学が困難となった学生に対する奨学金であるが、今年度、申請者はいなかった。

② 経済支援奨学金

大学学生部より申請のあった該当学生のうち92名に対し給付型経済奨学金を給付した。

(2) 学生の課外活動促進

① 学生の課外活動に係る支援及び表彰

例年学生部と連携し、学生団体のみならず個人の活動についても対象とし、顕著な活動が認められた場合に広く援助又は表彰を行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により課外活動が中止となった。

② 文化系サークル活動促進援助

本学の運動部以外の多様な文化系サークル活動に関して、全国地方都市で行われる大会や発表会への参加等地方における課外活動の促進を図る援助を行う予定であったが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により課外活動が中止となり援助金申請の提出がなかった。

③ 正課外教育活動参加促進援助

例年、大学が指定するイベントに参加する学生に対して支援を行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント開催が行われず、実施に至らなかった。

④ 学生団体による応援・広報活動の支援

応援や広報活動等を行っている学生団体に対し、交通費や運搬費、ユニフォーム購入等の支援を行う予定であったが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により活動が出来ず支援に至らなかった。

(3) 国際化の支援

大学の国際化を支援の一環として、外国人留学生と日本人学生のコミュニケーションとグループワーク等に関するイベントへ支援を行う。大学の交流イベントである外国人留学生が興味を持っている日本の衣食住、文化芸術に関わる講演会などに協賛・補助を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが実施されなかった。

(4) 就職活動支援

① ビジネススーツ等購入支援（紳士服販売業者と提携して無料配布）

奨学金受給者（3年生）を対象に就活グッズ無料引換券を配布し、145名が交換した。

② 就活グッズの作成配布

就職活動を行う学生全体に対して就職活動に活用できるグッズの配布を計画し、就職キャリア支援部主

催のオンライン合同企業セミナーにて、参加者へ履歴書セット1,600部を配布した。

(5) 学生の食育支援

引き続き大学からの申請に基づき全学生に対して100円朝食を提供予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施に至らなかった。

同様に朝食支援の補てんとして牛乳、グラノーラなどの軽食支援についても新型コロナウイルス感染症の影響により実施に至らなかった。

(6) 東洋大学社会貢献センター学内講座甬水会援助制度

東洋大学社会貢献センター学内講座の実施に伴い、申請に基づき広く褒賞金を支給することとなっていたが、今年度、該当者はいなかった。

(7) 弔慰金制度

「弔慰金規程」に基づき、会員の申請に基づき8名に支給した。

3. 甬水会費の徴収・支部運営費の交付

(1) 甬水会費の徴収

甬水会費は、1部学生については、大学に代理徴収を依頼し、入学時及び毎年授業料払込時に5,000円を徴収し、2部学生については、任意加入とし、本部に納入された。

(2) 支部運営費

① 在学生が確定する6月時点の支部会員数26,168名分に対して1人当たり1,000円を乗じ、さらに会員が1,000名未満支部について、100,000円を加算し、本部から運営費として支出した。

さらに、会員数200名未満支部については、支部からの申請に基づき9支部へ増額50,000円の援助を行った。

② 支部運営費については、講演会、校舎見学等、その実施目的が会員の親睦のみに限定されない支部開催事業（支部行事）に対して充てられるものとし、原則として支部予算の範囲内で実施するものとした。ただし、支部予算では賄えない場合で、やむを得ないと認められる場合に限り、支部からの申請に基づき、本部において審議のうえ、年度中10万円の範囲内で交付金を支給することとしていたが、申請はなかった。

③ 別途、就職説明会、文化・体育活動の支部主催応援行事等については、支部会員全体に周知することを前提に支部からの申請に基づき援助した。

4. 就職関係

(1) 就職関連講演会等の実施

就職説明会開催希望支部について、講師選定と派遣について大学と協議した。

(2) 大学の就職支援体制等のプレゼンツールの作成

就職関連講演会を中心とした大学からの支援体制の説明ツールとして、前年度に引き続きパワーポイントで作成動画プレゼンテーション（P I P M a k e r）を作成予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施に至らなかった。

5. 大学事業（行事）に対する支援協働

会則に定める「目的及び事業」を達成するために、大学事業については積極的に援助・協働することを基本とした。

(1) 父母懇談会および甬水会支部総会同日開催に伴う経費

2015年度より大学主催の父母懇談会開催に伴い、甬水会本部と各支部の実施・運営に関して、今年度も引き続き大学との協働体制で計画し、全国会場で開催予定ではあったが、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、対面ではなく特設サイトを作成しWEB上にて開催した。経費については支出がなかった。

(2) 父母専用相談窓口運営の設置

2015年度から開設された、父母専用相談窓口（父母ホットライン）の運営について、大学と協働し、135件の問い合わせがあった。

(3) 「井上円了が志したものとは」に対する援助

井上円了記念学術センターの企画・実施、実行委員会を構成、その運営費の一部を負担援助した。

(4) 卒業記念品

卒業記念品購入代金として大学・校友会・本会の三者負担による分担金を援助した。

(5) 全学的な行事に対する援助

既存の5キャンパスにおける大学祭及び3キャンパスにおけるスポーツ大会について、援助金を支給する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で通常開催が出来ず、中止となったものもあった。申請のあったものに対して援助した。

(6) 留学生団体等に対する援助

留学生連合会等団体の活動に援助金を支給する予定であったが、行事については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

(7) 学部行事等（ゼミナール単位での取組み含む）に対する援助

学生を対象とした学部行事・コンクール等において、優秀者に「甬水会会長賞」を授与した。具体的な内容は次の通り。

- ① 法学部の法学部法律討論会に対して、トロフィー代を援助した。
- ② 東洋大学ボランティア支援室より、「Hands to Hands ~みんなで乗り越える、コロナ禍~」として実家からの仕送りやアルバイトが減少し、生活が厳しい学生等に対して寄贈される食料品を配布する事業が行われた。これに対し、寄贈食品の種類が不足している食料品の援助を行った。
- ③ 障がい者ボランティア活動における功労者に対する表彰を行い、3年生20名へ表彰状を授与、4年生20名へ表彰状を授与し功労金を支給した。

(8) 「東洋大学教育・研究協力資金」募金に対する協力

「創立150周年に向けて国際的に優れた水準の大学を目指す。」といった「未来宣言」の実現を支援すべく、大学の寄付募金の趣意に添った形で、「奨学事業の展開」、「課外活動の支援として用途支援型」へ寄付を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響による保証人

の収入減少や学生のアルバイト収入減少に伴う学業継続困難者への奨学金の支援に用途変更して寄付を行った。

(9) 東洋大学新型コロナウイルス感染症対策特別奨学金「RIBBON」へ協力

新型コロナウイルス感染症の影響等により経済的に困窮している学生に対し、大学が新設した奨学基金に寄付を行った。

(10) 会長施策重点支援事業費

学生により近いところへの支援事業として、会長が考案した内容について、常任理事会での承認を得て支出する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響のため実施に至らなかった。

(11) 交換留学生等の受入れ支援

担当部署と協議して試みたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため実施に至らなかった。

(12) 箱根駅伝応援バスツアーを本部事業（本部主催）

本部主催で計画をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止における応援自粛要請に伴い、バスツアーを中止とした。

6. 大学及び校友会行事等に対する協力

大学・校友会が年間行事として実施する祭事等に、甬水会代表者を派遣・協力した。

2020年 6月6日 学祖祭

2020年 11月7日 哲学堂祭

2021年 1月8日 井上円了が志したものとは表彰式

7. 広報活動

会員相互間の連絡を密にすることを目的として広報活動を実施した。

(1) 甬水会本部発行物

新入生対象の「会員のしおり」

——年1回（2020年5月発行予定）

全会員対象の「会報東洋」

——年1回（2020年12月発行予定）

本部役員及び支部長対象の「甬水会ジャーナル」

——年2回（2020年4月・11月発行予定）

「会報東洋」の発送は、大学の送付物に同封した。

(2) 甬水会ホームページの運営

大学ホームページ内における制約を鑑みた際、本会独自のホームページを作成することで、会員に対し、いち早く身近な情報を発信できるようにした。更新を随時行うために、業者に運営管理の委託をした。

(3) 本部及び支部活動促進のためのグッズ作成（当年度支部役員就任者への配布）

当年度支部役員就任のモチベーションを高め、支部活動の活性化に寄与することを目的に折り畳み傘と傘袋を作成した。

配布に際しては、事前に目的を会員に周知徹底するとともに、配布基準に基づき会員間の平等性を確保した。また、支部役員就任者へ「スポーツ東洋」を年5回配付する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により発行が中止となった。

(4)会員の満足度向上と帰属意識昂揚のための施策

支部総会等浦水会主催行事への会員の参加を促進するためグッズを作成し、配布予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、オンラインでの開催となったため、グッズ作成はしなかった。

8. 会員情報管理システム

浦水会本部では、大学の教務部門の情報を利用し、会費納入処理等を行っている。

会員情報管理システムは、2014年度からは、卒業生・浦水会連携推進課に依頼することとなっている。また、

支部要請の宛名ラベルを本部で作成提供できるようになっている。

情報の使用・管理については、「個人情報保護法」に基づき適切に管理されるよう、引続き支部でのご協力をお願いする。

大学と「個人データの提供に伴う個人情報の機密保持及び安全管理に関する契約書」を締結し、申請に基づき取り扱っている。なお、浦水会ホームページについては、大学側ホームページにリンクし、最新データを随時加えることによって、情報化を促進する。

支部事業関係

(1)支部総会

新型コロナウイルス感染症の影響により、急遽非対面での支部総会の開催となり、全国56支部が浦水会ホームページに支部総会資料を掲載した。サイトへのアクセス数（ページ訪問者）は2,879名。

(2)就職説明（懇談）会

月 日	曜	支 部	実施方法	説明者（敬称略）	参加人数
9月19日～27日	土～日	埼玉県南	WEB	大学教員 小島 貴子	80
12月5日	土	千葉県東	WEB	外部講師 川田 英利	48
12月6日	日	千葉県西（他近隣支部）	WEB	外部講師 谷出 正直	43世帯
1月23日～2月1日	土～月	埼玉県南・埼玉県東・埼玉県中央 埼玉県北・千葉県西・千葉県東 東京都城西・東京都多摩	WEB	外部講師 曾和 利光	283
2月13日	土	神奈川県	対面	外部講師 山本 みどり	51
2月14日	日	埼玉県南	WEB	外部講師 山本 みどり	85
3月13日	土	富山県	対面	外部講師 渡邊 剛	33

(3)校舎見学会

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、父母保証人が大学へ入構できなかったため、開催支部はなし。

(4)講演・研修会等

月 日	曜	支 部	内容等	講演者（敬称略）/ 場所	参加人数
11月7日	土	東京都城西	哲学堂公園日帰り研修	哲学堂公園	17
11月21日	土	東京都城西	オンライン落語講演会 「目黒のさんま」「佐々木政談」	落語家 林家 あんこ 中野区桃園区民活動センター	16
12月5日	土	東京都中央	情報交換会	丸の内ホテル	17
12月12日 ～12月23日	土～水	東京都多摩	オンライン講演会 「現代社会における親と子 - 親にとって子どもとは何か -」	大学教員 西野 理子 立川市女子総合センターアイム	28
2月13日 ～2月21日	土～日	東京都多摩	オンライン健康エンターテインメント 講演会「コロナ太りも撃退！！ 1日300歩！実践できるウォーキング」	みのわ あい Magari studio	24
2月21日	日	千葉県西	オンラインバスツアー	鹿児島・南九州の旅 薩摩の小京都「武家屋敷」と 平和の尊さを知る「知覧」	18
3月20日～31日	土～水	東京都城西	オンラインコンサート 音源や動画を提供いただき YouTube配信	東洋大学学生サークル 白山グリーンクラブ・ブルービー サウンズジャズオーケストラ	24
3月20日	土	東京都城西	オンライン研修ツアー（Zoom利用） 首里城を訪問し首里城再建の現状 とその歴史を学ぶ	株式会社エイチ・アイ・エス 沖縄主催	14
3月21日	日	東京都多摩	オンライン講演会（事前収録）	東洋大学学生サークル ブルービーサウンズジャズオーケ ストラ・アカペラサークルhum	33
3月27日	土	東京都城北	歌舞伎観劇ツアー	国立劇場	27

甫水会収支関係

甫水会費……………	5,000円		
第1部	25,705名……………	128,525,000円	
第2部	349名……………	1,745,000円	
	26,054名……………	130,270,000円	

2020年度会計報告

2020年度決算は、4月及び5月に開催されました理事会・評議員会において、承認されました。

2020年度一般会計決算報告書

自 2020年4月1日～至 2021年3月31日

貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
(流動資産)	(95,857)	(流動負債)	(1,542)
現金	68	未払金	123
普通預金	95,755	前受金	210
郵便振替	34	預り金	1,209
(固定資産)	(2,000)	正味財産の部	
甫水会記念事業積立金	2,000	次年度繰越金	94,315
		特定資産次年度繰越金	2,000
合 計	97,857	合 計	97,857

一般会計収支計算書

自 2020年4月1日～至 2021年3月31日

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
甫水会費収入	130,270	事業費	154,702
雑収入	1	管理費	9,340
投資活動収入	0	投資活動支出	1,000
前年度繰越金	129,087	次年度繰越金	94,316
合 計	259,358	合 計	259,358

2021年度事業計画

東洋大学は教育・研究の質を向上させ、新たな時代を担う人材を育成するために学部・学科の再編やキャンパス間の移転を進めています。2021年度に朝霞キャンパスにあるライフデザイン学部を赤羽台キャンパスに移転させ、2024年度には板倉キャンパスの生命科学部と食環境科学部、川越キャンパスの理工学部生体医工学科を朝霞キャンパスに集約します。各キャンパスに共通するテーマを持った学部を配置し、連携・協働を図ることで、「SDGs（持続可能な開発目標）」達成に寄与する地球規模での課題解決に向けた教育研究活動を推進し、地球社会の未来に貢献する人材を育成してまいります。

東洋大学雨水会は、1959年1月父兄会とし、設立されてから今日に至るまで、「東洋大学学生の父母又は学生の保護者相互間の連絡を密にし、大学の興隆発展に協力するとともに、大学と協力して学生の心身の健全な発達を図ること」を目的としており、2021年度で創立62年目を迎えることになります。

雨水会として大学の掲げる目標及び事業を支援するとともに、会員とご子息ご子女各位にとって、実り多きものとなるように、2021年度も引き続き、大学との「協働」「連携」の基本方針のさらなる充実を目指して、雨水会の事業を展開してまいります。

2021年度は昨年に発症した新型コロナウイルスの収束が先行き不透明な状況にはありますが、今まで対面式で実施してきた行事は雨水会各支部でも実施を強く希望しているので計画をいたします。

コロナが収束しない場合には非対面で実施することも視野に入れて計画します。

以下、2021年度雨水会事業計画の概要を説明いたします。

本部事業関係

1. 諸会議及び行事

【諸会議】

(1) 評議員会

常任理事及び全国56支部長と1,000名以上の会員を擁する支部選出の評議員とで構成され、会則第21条の重要項目に関して審議を行う最高議決機関であり、定例会として年1回5月に開催する。

(2) 理事会

常任理事と地区長理事で構成され、本会運営の基本業務について常任理事会の執行事項の確認・承認を行う機関であり、定例会として年2回11月及び翌年4月に開催する。

(3) 常任理事会

原則として、毎月1回開催する（7・8月を除く）。

本会運営の基本的業務について、評議員会・理事会等で決定した事業計画を円滑に執行する。

(4) 常任理事会内委員会

必要に応じて委員会を開催し、業務を執行する。

(5) 役員選考委員会

次期役員候補者を全国56支部より推薦していただき、1月に役員候補者の選考を行う。

(6) 地区別支部長会議

全国10地区において地区長主催で、本部・支部活動の円滑な連携と各地区組織の活性化を目的とし、地区別支部長会議及び実務研修を1月及び2月に実施する。

(7) 全国56支部長研修会

本部主催で全国56支部長の参加による会議及び実務研修を9月に開催する。

【行事】

(1) 父母懇談会での協働

大学主催による父母懇談会（2015年度より雨水会主催の雨水懇談会を変更）の実施に際して、雨水会本部及び各支部が実施運営に協働（協力支援）することを本部事業として位置づける。

父母懇談会の実施については、関東地区の各支部（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県）の会員に対しては、学生が在籍する各キャンパス（白山、川越、板倉、赤羽台）で6月に実施する。2021年度は関東地区以外の各支部の会員については、全国14会場にて7月～8月に実施する。大学教職員による履修成績、学生生活及び就職の支援体制についてWEBを利用して説明する他、個別面談を実施する。新型コロナウイルスの感染状況を考慮のうえ、実施の可否については、4月末日までに決定し、5月10日以降にご連絡する予定である。

(2) 会員の集い・就職フォーラム

会員相互の親睦を深め、就職関係の充実を図ることを目的とし、11月に実施とする。

講演実績のある講演者にご依頼し、父母を対象とした講演のため、親子との関係性にも触れた内容として実施する。

就職講演終了後、引き続き、卒業生にご協力いただきパネルディスカッションも実施する。

また、学生の課外活動の発表の場として、学生団体の活動の様子を父母へ披露する。

コロナの状況、父母のご都合が悪い場合、遠方から大学へお越しになる事が出来ない方の事を考慮し、実施当日に生中継又は事前収録のいずれかの対応をして11月末まで視聴可能とするように実施する。なお、遠隔地支部会員の参加者については、規定額の交通費を補助する。

2. 学生支援諸制度

(1) 奨学生制度

① 家計急変者対象（従来の雨水会奨学金）

東洋大学独自の奨学金申請が間に合わなかった学生で、支援を要する場合。

② 経済支援奨学金 ※大学と協議のうえ実施する。

(2) 学生の課外活動促進

① 学生の課外活動に係る支援及び表彰

学生部と連携し、学生団体のみならず、個人の活動についても対象とし顕著な活動が認められ大学から特段の要請があった場合について広く援助又は表彰する。

②文化系サークル活動促進援助

本学の運動部以外の多様な文化系サークル活動に関して、全国地方都市で行われる大会や発表会への参加等地方における課外活動の促進を図る援助を行う。

③正課外教育活動参加促進援助

正課外教育について、全学的な関心と参加促進を図るべく、大学が指定するイベントに参加する学生に対しての支援。

④学生団体による応援・広報活動の支援

応援や広報活動等を行っている公認学生団体に対し、交通費や運搬費、ユニフォーム購入等を支援する。

(3)国際化の支援

大学の国際化を支援の一環として、外国人留学生と日本人学生のコミュニケーションとグループワーク等に関するイベントへ支援を行う。大学の交流イベントを協賛、補助する形で外国人留学生が興味を持っている日本の衣食住、文化芸術に関する講演会の実施などを行う。

(4)就職活動支援

①ビジネススーツ等購入支援（紳士服販売業者と提携して無料配布）

予算に限りがあることを考慮して、家計急変者、経済的困窮学生等に対象を限定し、奨学金の補てんを趣旨とした支援を行う。甬水会の奨学金受給者及び東洋大学2種、3種奨学金の受給者を対象とし、大学の奨学金説明時に併せて広報するなど、周知の時期や広報の仕方を併せて工夫する。

②就活グッズの作成配布

就職活動を行う学生全体に対して、就職活動に活用できるグッズ(大学独自の履歴書など)を作成して配布する。

(5)学生の食育支援

食育の一環として、引き続き大学からの申請に基づき援助する。

①全学生を対象とした100円朝食を引き続き実施する。

②朝食支援の補てんとして、豆乳、グラノーラなどの軽食を生活協同組合等に委託し支援する。

(6)東洋大学社会貢献センター学内講座甬水会援助制度

2016年度より開設の東洋大学社会貢献センター学内講座実施に伴い、申請に基づき広く褒賞金を支給する。支給にあたっては、他学部との褒賞金とは重複しないものとし、予算の範囲内で支給する。

(7)弔慰金制度

不測の事故等で会員又は会員のご子女が死亡した時、その遺族に対して弔慰金3万円を支給する。

3. 甬水会費の徴収・支部運営費の交付

(1)甬水会費の徴収

甬水会費は、1部学生については、大学に代理徴収を依頼し、入学時及び毎年授業料払込時に5,000円を徴収し、2部学生については、任意加入とし、本部において徴収する。

(2)支部運営

①支部運営費は、支部所属会員数1人当たり1,000円を乗じて算定する。さらに、会員が1,000名未満支部については、100,000円を加算し、本部から年1回6月に各支部に交付する。

さらに、会員数200名未満支部については、支部からの申請に基づき増額50,000円の援助を行う。

②支部運営費については、講演会、校舎見学等、その実施目的が会員の親睦のみに限定されない支部開催事業（支部行事）に対して充てられるものとし、原則として支部予算の範囲内で実施するものとする。ただし、支部予算では賄えない場合で、やむを得ないと認められる場合に限り、支部からの申請に基づき、本部において審議のうえ、年度中10万円の範囲内で年度2回を上限に交付金を支給する。

③別途、就職説明会、文化・体育活動の支部主催応援行事等については、支部会員全体に周知することを前提に支部からの申請に基づき、年度中10万円の範囲内で援助する。なお、援助にあたっては、繰越金等の支部の収支状況を考慮して、援助の有無又は援助金額について審議する。

4. 就職関係

(1)就職関連講演会等の実施

本部または各支部で実施する就職関係講演会等行事については、6月から実施する父母懇談会の内容を踏まえた上で、実施時期、講演者、講演内容を検討する。

行事内容の策定及び講演者の選定については、父母のニーズに合致しているか等効果を考慮するとともに、実施に際しては、甬水会事務局を通じて大学における就職関連担当事務局（就職・キャリア支援部等）の意見及び推薦を踏まえることとする。

(2)大学の就職支援体制等のプレゼンツールの作成

就職関連講演会を中心とした大学からの支援体制の説明ツールとして、前年度に引き続きパワーポイントで作る動画プレゼンテーション（P I P M a k e r）を作成する。就職環境の変化や支援体制変更に伴う説明内容の変更点を更新するほか、新たな説明ツールの作成も行う。ツールの更新、新規の作成に際して、父母（会員）に対するアンケート等を基に、ニーズや意見を反映させるようにする。

各支部に配布して支部行事の活性化を図るほか、作成を通じて父母懇談会での大学関係者の説明支援に寄与する。

5. 大学事業（行事）に対する支援協働

会則に定める「目的及び事業」を達成するために、大学事業については積極的に援助・協働することを基本としている。

(1)父母懇談会および雨水会支部総会同日開催に伴う経費

2015年度より大学主催の父母懇談会実施に伴い、雨水会本部と各支部が実施・運営に関して、今年度も引き続き大学との協働（連携・支援・協力）体制とする。特に、全国会場で実施する、地区別父母懇談会ならびに雨水会支部総会の実施経費のうち、会場費等については、大学事務局との協議の上、予算の範囲内で雨水会が負担する。

(2)父母専用相談窓口運営の設置

2015年度から開設された、父母専用相談窓口（父母ホットライン）の運営について、大学と協働して推進する。

(3)「井上円了が志したものとは」に対する援助

井上円了記念学術センター内の実行委員会に本部役員が構成員として任用されており、実施企画について、その運営費の一部を援助する。

(4)卒業記念品

毎年度、卒業記念品購入代金として大学、校友会、本会の三者による分担金を支出する。記念品目については、関係部署と事前に協議する。

(5)全学的な行事に対する援助

既存の4校舎における大学祭（白山祭（白山）、こもれび祭（川越）、雷祭（板倉）、INIAD-FES（赤羽台）及び2校舎におけるスポーツ大会（川越、板倉）について、援助金を支給する。

(6)留学生団体等に対する援助

大学の国際化が求められている今日、大学の活性化にも繋がる留学生連合会等団体の活動に対し広く援助金を支給する。

(7)学部行事等（ゼミナール単位での取組み含む）に対する援助

学生を対象とした学部行事・コンクール等において、優秀者に「雨水会会長賞」を授与し、ゼミナール単位における社会貢献活動、卒業生実務担当者と在校生の連携協力に対し援助金を支給する。

(8)「東洋大学教育・研究協力資金」募金に対する協力

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、収入減少などの経済的な理由により、修学継続が困難となる学生への奨学金として「新型コロナウイルス学生支援」を大学の寄付募金の趣意に添った形で寄付を行う。

(9)会長施策重点支援事業

学生により近いところへの支援事業として、会長が考案した内容について、常任理事会での承認を得て支出するものとする。

(10)箱根駅伝応援バスツアー本部事業（本部主催）の実施

6. 大学及び校友会行事等に対する協力

大学及び校友会が年間行事として実施する祭事等に、雨水会代表者を派遣する。

7. 広報活動

会員相互間の連絡を密にすることを目的として広報活動を実施する。

(1)雨水会本部発行物

①新入生対象の「会員のしおり」

——年1回（2021年5月発行予定）

②全会員対象の「会報東洋」

——年1回（2021年12月発行予定）

③本部役員及び支部長対象の「雨水会ジャーナル」

——年2回（2021年4月・10月発行予定）

(2)雨水会ホームページの運営

本会独自のホームページを2018年度創立60周年記念事業の中で新規開設をした。2020年度はコロナ禍で支部総会はホームページを活用して実施。東洋大学ホームページとのリンクを確保して、雨水会と大学との情報の共有化を図ると共に雨水会ホームページにおいて、各支部で行事計画及び報告を紹介するなど、支部内及び支部間の情報の共有化により、支部活動の活性化を図る。会員に対し、いち早く身近な情報を発信できることから、業者に運営管理の委託をしている。

(3)本部及び支部活動促進のためのグッズ作成（当年度支部役員就任者への配布）

当年度支部役員就任のモチベーションを高め、支部活動の活性化に寄与することを目的に作成する。

配布に際しては、事前に目的を会員に周知徹底すると共に、配布基準に基づき会員間の平等性を確保する。また、支部役員就任者へスポーツ東洋を年5回配付する。

(4)会員の満足度向上と帰属意識昂揚のための施策

支部総会等雨水会主催行事への会員の参加を促進すべく配布する。グッズの内容は、応援グッズなど活動促進に資するものとし作成する。可能であれば大学と協働で作成して効率的な作成を図り、併せてコストの低減を図る。

8. 会員情報管理システム

雨水会本部では、大学の教務部門の情報を利用し、会費納入処理等を行っている。

会員情報管理システムは、2014年度からは、卒業生・雨水会連携推進課に依頼することとなっている。また、支部要請の宛名ラベルを本部で作成提供できるようになっている。

情報の使用・管理については、「個人情報保護法」に基づき適切に管理されるよう、引続き支部でのご協力を願います。

大学と「個人データの提供に伴う個人情報の機密保持及び安全管理に関する契約書」を締結し、申請に基づき取り扱っている。なお、ホームページについては、大学側ホームページにリンクし、最新データを随時加えることによって、情報化を促進する。

支部事業関係

各支部が中心となって主催する行事等については「支部主催行事等援助金」支給基準に基づき援助を行う。

各行事等の名称と実施手続き等については次のとおり。

(1)支部総会

2015年度より実施、大学主催の父母懇談会開催に伴い、関東地区以外の支部については、原則として支部総会開

催は、大学主催の父母懇談会開催日と同日の同じ会場で実施する（一部都合により父母懇談会と別日程で支部総会を開催せざるを得ない場合は、甬水会本部と相談の上、別途支部において、別日程で支部総会を開催する場合がある）。

また、関東地区の支部については、従来どおり支部総会は別途、別日程で独自開催する。

2021年度は支部総会開催に伴う総会出席者には昼食として1人上限2,000円（税込）を支援する。繰越金を考慮して、関東地区以外は本部から支出とし、関東地区は支部運営費からの支出とする。（2021年度限り）

懇談会実施に際し、支部からの申請により支部へ本部より参加者一人当たり2,000円の援助を行う。（一学生につき父母及び保護者2名参加者まで）なお、役員のための懇親会開催については、援助対象外とする。

2021年度については、地区別父母懇談会と同時開催できない支部もあり、支部総会への出席率を上げるため、甬水会本部として協力をする。

(2)就職説明（懇談）会

各支部において、独自で就職説明（懇談）会を計画した場合は、「甬水会支部関係業務等処理手順」に基づき、甬水会事務局へ申請書を提出する。支部からの開催要望に基づき、大学側と調整し支部へ報告する。

(3)校舎見学会

4校舎の父母懇談会時及び本部主催事業「会員の集い・就職フォーラム」（白山校舎）の実施に際して、校舎見学を実施する。支部単位での個別の校舎見学についても受け付けることとし、校舎案内者を派遣依頼要請する関係から、就職説明(懇談)会同様の手順で申請を受け付ける。

赤羽台キャンパスについては、支部行事での校舎見学はキャンパスセキュリティのため不可とする。

(4)講演・研修会等

講演・研修会等の講師について、東洋大学の教員等を講師として希望する場合、支部からの申請に基づき、本部にて担当課と調整の上派遣する。

- ②支部関連事業の支部主催行事についても規程に準じて援助し、各支部の活性化を図る。
- ③学生協力費については、前年度どおり本会の目的に基づき、大学祭、スポーツ大会、クラブ・サークル等の援助金を大学の関連部署と連携して支給する。
- ④人件費は、事業費関連事務に伴う人件費を、労働契約書に基づき支出する。
- ⑤2021年度新規施策事項については、必要な経費を計上した。

【管理費】

- ①会議費は、各会議等に要する旅費交通費等である。
- ②通信費・印写費・支払手数料・備品費等事務に要する費用を科目ごとに計上している。
- ③人件費は、事業費関連事務以外の事務に伴う人件費を、労働契約書に基づき支出する。
- ④2021年度新規施策事項については、必要な経費を計上した。
- ⑤予備費については、緊急支出として措置する。

【特定資産取得支出】

周年事業に向けての準備積立金100万円を計上する。

2021 年度予算書

2021年度予算は、理事会・評議員会において、事業計画書と共に提出、報告されました。

2021年度一般会計収支予算書

自 2021年 4 月 1 日～ 至 2022年 3 月31日

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
甬水会費収入	132,500	事業費	181,390
雑収入	2	管理費	21,400
投資活動収入	0	投資活動支出	1,000
前年度繰越金	88,372	予備費	10,000
		次年度繰越金	7,084
合 計	220,874	合 計	220,874

甬水会収支関係

1. 収入について

2021年度の甬水会費は、大学に委託徴収を依頼している。

甬水会費5,000円

第1部の入学生及び在学生から徴収する。なお、留学生は除く。

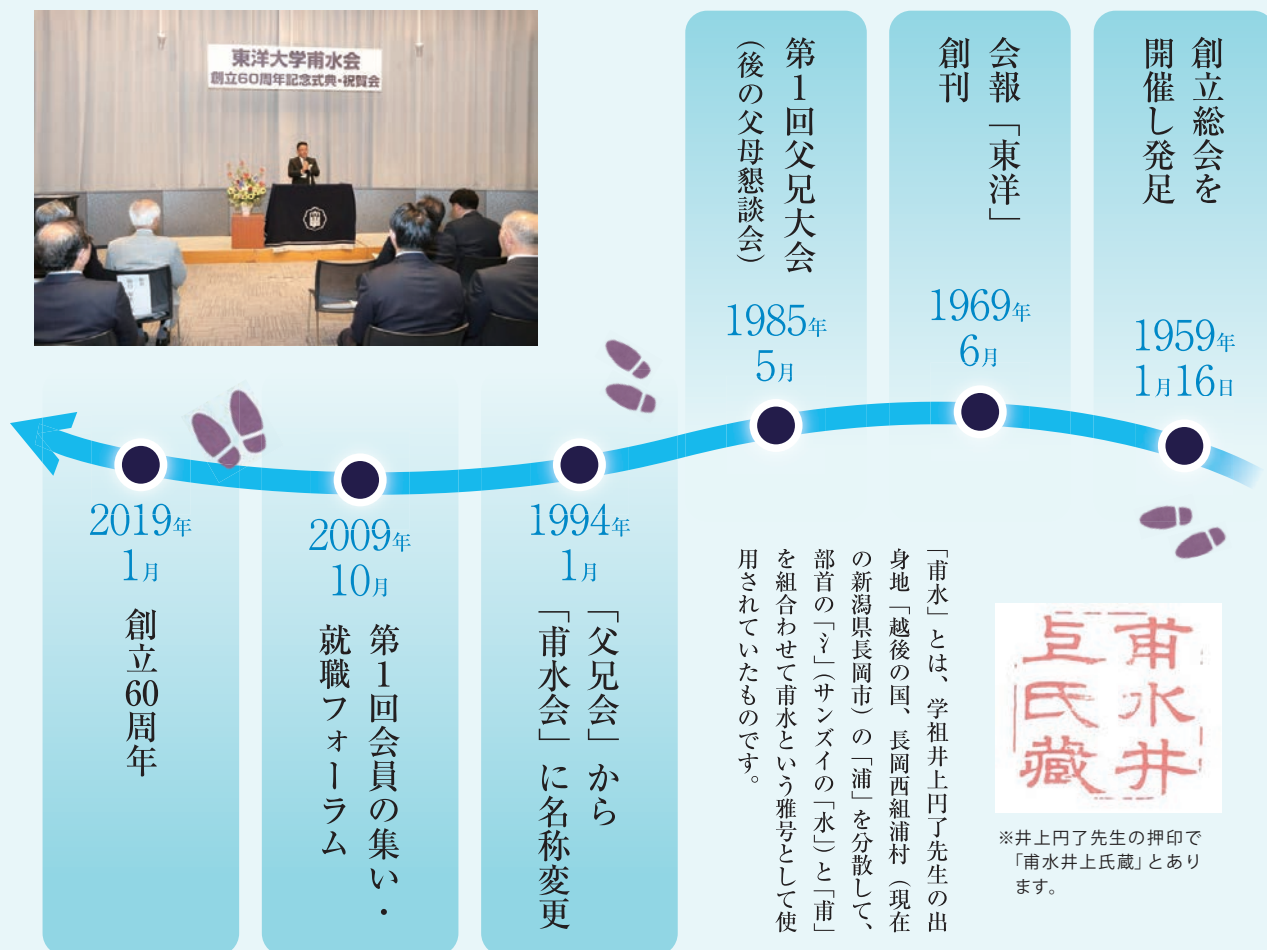
第2部の入学生及び在学生からは、任意加入として本部が徴収する。

2. 支出について

【事業費】

- ①本部関連事業の主要行事である、支部総会、会員の集い・就職フォーラム、就職説明(懇談)会、会報発行等については大学の関連部署と協働を図り、予算を執行する。

浦水会簡易沿革



白山

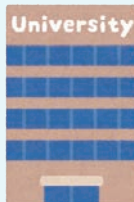
時計台

浦水の森

東洋大学のあゆみ



板倉



朝霞



銘板（井上円了像）

銘板は各キャンパスにそれぞれ設置されています。

銘板（四聖像）

浦水会寄贈物件

地区別支部長懇談会

2021年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、支部総会がWebでの開催となり、本部役員が各支部へ行けなかったため、10月に各地区へ出向き、状況や情報交換をしました。関東地区については、東洋大学白山キャンパスで開催予定でしたが、大学の施設が利用出来ず、やむを得ず中止となりました。



北海道地区



東北地区



甲信越地区



北陸地区



東海地区



近畿地区

本部行事



中国地区



四国地区



九州地区

※写真撮影のため、マスクを外しています。

会員の集い・就職フォーラム（オンライン）



学長挨拶



会長挨拶



パネルディスカッション



就職講演会

支部行事



東京都城北支部(就職講演会)



東京都中央支部(情報交換会)



大分県支部(交流会)



東京都多摩支部(アイスホッケー部応援)



東京都城西支部(哲学堂公園日帰り研修)



講話及び懇親会(宮崎県支部)

※写真撮影のため、マスクを外しています。

甫水会役員名簿

[2021年度本部役員]

役職名	氏名	支部名
会 長	川本 正信	多 摩
副 会 長	久野 裕之	千 葉 東
副 会 長	久保 幸男	神 奈 川
常 任 理 事	寺田 信幸	大 学 推 薦
常 任 理 事	堤 芳昭	埼 南
常 任 理 事	吉田しのぶ	城 西
常 任 理 事	秋田美智子	茨 城
常 任 理 事	平野 貴子	静 岡
常 任 理 事	濱田幾久子	高 知
監 事	錦戸 智行	千 葉 西
監 事	山岸 弘	埼 東

役職名	氏名	支部名
理事・地区長(北海道)	吉田 敦史	札幌・函館
理事・地区長(東 北)	畑井 誠	山 形
理事・地区長(関 東)	石山 光世	栃 木
理事・地区長(甲信越)	小野塚重行	新 潟
理事・地区長(北 陸)	赤芝 洋春	石川・福井
理事・地区長(東 海)	打越 陽子	愛 知
理事・地区長(近 畿)	真嶋 次朗	兵 庫
理事・地区長(中 国)	—	島 根
理事・地区長(四 国)	野村 道生	高 知
理事・地区長(九 州)	佐藤 文彦	大 分

[評議員]

会則第20条2項（支部長）

支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名
札幌・函館	吉田 敦史	千 葉 西	久保俊一郎	和 歌 山	家吉かずみ
旭 川	辻 博幸	城 東	久茂田善晃	鳥 取	小倉 正樹
北 見	遠藤 義浩	城 西	内藤 雅彦	島 根	—
室 蘭	前田 美佳	中 央	山田 圭子	岡 山	井上 鈴子
釧 路	木村 美咲	城 北	平澤 晴美	広 島	加藤 賢二
青 森	須藤 慎治	多 摩	吉元 史昌	山 口	岩本 英樹
岩 手	小原 都氏	神 奈 川	加藤 学	徳 島	島田 圭子
宮 城	有明 毅	新 潟	小野塚重行	香 川	中塚 理恵
秋 田	佐々木直志	山 梨	石井 香	愛 媛	森本 洋子
山 形	畑井 誠	長 野	斉藤誠一郎	高 知	野村 道生
福 島	山口 洋	富 山	寺田 正博	福 岡	矢野 昭子
茨 城	藤平 浩貴	石川・福井	赤芝 洋春	佐 賀	蒲原 英輔
栃 木	石山 光世	岐 阜	森田 正浩	長 崎	江藤 一夫
群 馬	小此木利夫	静 岡	宮崎 文	熊 本	堀野裕一郎
埼 北	黒田 誠之	愛 知	打越 陽子	大 分	佐藤 文彦
埼 中	吉田 実	三 重	高橋 裕司	宮 崎	坂元 克郎
埼 東	竹森 裕二	京都・滋賀	何澤 真麻	鹿 児 島	—
埼 南	岡安 直美	阪 奈	左向 清人	沖 縄	大宜見 寿
千 葉 東	山根 将裕	兵 庫	真嶋 次朗		

会則第20条2項（1,000名を超える支部）

支部名	氏 名	支部名	氏 名
茨 城	土屋 大輔	千 葉 西	金澤 康雄
埼 中	太田 真美	城 東	吉岡 肇
埼 東	赤石 民子	城 北	穂坂 秀人
埼 南	石井 哲也	多 摩	源 由美子
千 葉 東	田谷 勝彦	神 奈 川	原 信弘

顧問

氏 名
荻野 雅彦
鈴木 貞好

本部役員紹介

会 長 川本 正信 東京都多摩

勉学にスポーツに文化活動に、頑張る東洋大生を応援します。
全国の甫水会活動にご理解とご協力を!!

副 会 長 久保 幸男 神奈川

学生たちも対面授業の比率が高まっておりますが、甫水会につきましても、完全を確保しつつ対面でお会い出来ればと思います。

常任理事 吉田しのぶ 東京都城西

支えるべき学生がいるからこそ、私たちも頑張れるのです。今年度も、様々な形で応援させていただきます。よろしくお願いいたします。

常任理事 平野 貴子 静岡

楽しむ気持ちを持ち、世の中の変化に対応し進化していく甫水会活動になるよう努めて参りたいと思います。

監 事 錦戸 智行 千葉県西

withコロナの時代に適した甫水会の構築を目指し、支部と本部の橋渡しに尽力を致します。
是非一緒に楽しみましょう!

顧 問 荻野 雅彦

混沌とした世の中ではありますが、それを突き破るべく、微力ではありますが会員皆様と東洋大学を繋ぐお手伝いができればと存じます。

副 会 長 久野 裕之 千葉県東

対面で行事が少しずつ出来るようになりました。甫水会の活動で大学に1歩近づいて、そしてお子さんとも今より1歩近づいて、一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

常任理事 堤 芳昭 埼玉県南

止まない雨は無い!想像しよう!素敵な未来を!
これからだ!東洋大学を丸ごと楽しむのは!!
そんな一翼を担う甫水会をどうぞ宜しくお願いします。

常任理事 秋田美智子 茨城

コロナ禍から徐々に日常を取り戻す時期となりました。大学・学生・保護者の皆様のお役に立てるよう努めて参ります。よろしくお願い致します。

常任理事 濱田幾久子 高知

地方から東京への進学者が減少した2年間。そんな今だからこそ、東洋大学を地方の受験生に知ってほしい。地方の保護者の声を大学に届けたい。

監 事 山岸 弘 埼玉県東

甫水会本部の一員として、会員の皆様と大学が、より良好な繋がりが出来るよう、よき相談相手を心掛けた活動を行なって参ります。

顧 問 鈴木 貞好

今年度は顧問として、皆様の甫水会における活動がより良いものになるよう支えていく所存です。よろしくお願い致します。



左から荻野顧問、鈴木顧問、濱田常任理事、吉田常任理事、久野副会長、川本会長、久保副会長、秋田常任理事、平野常任理事、堤常任理事、錦戸監事、山岸監事

東洋大学オリジナルグッズのご案内

入学・卒業の記念に、ご進物用に、応援グッズとしてなど、
さまざまなシーンでご利用いただいております。
ご注文はオリジナルグッズサイトよりお申してください。



テディベア



NIKE Tシャツ・フルジップパーカー 在庫限り



クッキー



マフラータオル



応援旗

期間限定
TU マークラベル
地ビール



お申込は
<https://goods.toyocoop.jp/>

東洋大学生協同組合



東洋大学雨水会 ウィンドブレーカーご案内

雨水会でウィンドブレーカーを作成いたしました。
これを着て一緒に学生の応援へ駆け付けませんか？

※ご購入を検討される場合は在籍支部へご連絡をお願いいたします。



ブレーカーシャツ ¥4,600(税込)

■素材…表地&裏地：ポリエステル100%

●サイズ

S	157 ~ 163
M	162 ~ 168
L	167 ~ 173
XL	177 ~ 183
2XL	182 ~ 188



東洋大学グローバルサービス株式会社からのご案内

英語学習

各種英語講座を開講しています。東洋大学生以外の方も受講できます！

- ＜東洋大学生対象＞ 英語資格試験（TOEIC、IELTS、TOEFL）対策講座
Toyo Achieve English 英語講座
- ＜一般の方対象＞ Toyo Achieve English 英語講座

オンライン・対面受講が選べますので、遠方にお住まいでも大丈夫。

東洋大学関係者は **20%割引価格**でご提供



詳細はこちらから

学研災付帯学生生活総合保険

引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 21-TC06471 2021年11月作成

学生生活や日常生活全般に対応する保険です。在学中はいつでもご加入いただけます。

病院の**治療費実費**を**1日目**から補償

保険料は団体割引 **30%**適用

学生生活を **24時間総合的**に補償 **自転車条例**に対応



詳細はこちらから

レンタルドレス (DRENI)

2021年秋、丸井のレンタルドレス DRENI と提携しました。

東洋大学関係者に Web クーポン **2,000円**をプレゼント!!

クリーニング代、返送料**不要**

予約から返却まで **Web** で**簡単**！



Web クーポン
詳細はこちらから

住宅案内

安心してより良いお部屋探しのお手伝いができるよう不動産会社と提携しています。

「**仲介手数料不要**」

「**仲介手数料 50%OFF**」

「**家賃は春から**」など魅力的な特典付有り！

オンライン
相談も
可能です。



詳細はこちらから

自動車免許

東洋大学生限定特典付の自動車教習所を紹介しています。

先着 100 名様にセブンイレブンで使える商品券

2,000円をプレゼント！

イトーヨーカ堂など商業施設でも、Web でも申込可!!

計画的な自動車免許の
取得をお勧めします。



詳細はこちらから

東洋大学生や雨水会の皆様に役立つサービスをご提供してまいります。



東洋大学グローバルサービス株式会社

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 白山キャンパス 8号館 2階
Tel : 03-3945-4261 Fax : 03-3945-4265 Email: info@tugs.co.jp



東洋大学へのご相談・お問い合わせについて

保証人のみなさまから大学へのご相談・お問い合わせ

大学での修学にあたり、ご子息・ご息女のこと、保証人のみなさまが東洋大学に対して、ご相談やお問い合わせをどちらにしたらよいか等、お困りの際は、所属の学部・学科が設置されている各キャンパス(※下記参照)各関連部署へメールにて、ご相談・お問い合わせください。

※各頁のお問い合わせ先一覧よりご確認ください

【白山キャンパス P.9】 文学部・経済学部・経営学部・法学部・社会学部・
国際学部・国際観光学部

【川越キャンパス P.10】 理工学部・総合情報学部

【板倉キャンパス P.11】 生命科学部・食環境科学部

【赤羽台キャンパス P.12】 ライフデザイン学部・情報連携学部

学部・学科の再編について

学部・学科とキャンパスの再編により多層的・先端的テーマに取り組む学習と研究拠点を築きます。

2023年4月 福祉・健康スポーツ科学に関わる2学部5学科を赤羽台キャンパスに開設予定

開設 福祉社会デザイン学部 社会福祉学科 / 子ども支援学科 / 人間環境デザイン学科

開設 健康スポーツ科学部 健康スポーツ科学科 / 栄養科学科

2024年4月 生命科学・食環境科学に関わる2学部6学科を朝霞キャンパスに集約

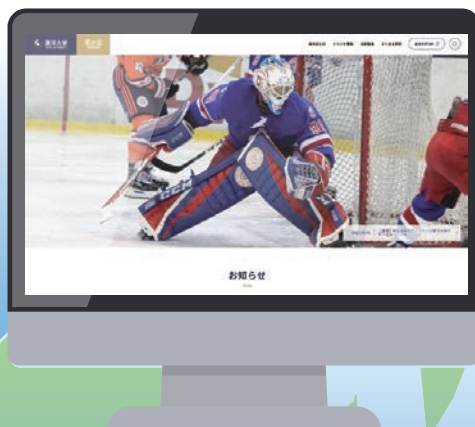
開設 移転 生命科学部 生命科学科 / 生体医工学科 / 生物資源学科

開設 移転 食環境科学部 食環境科学科 / フードデータサイエンス学科 / 健康栄養学科

※2023年4月以降に開設予定の学部・学科は2021年6月現在、設置構想中です。

学部・学科の名称は仮称であり、計画内容は変更になることがあります。

甫水会からのご案内



甫水会会員向け HPのご案内

保護者として知りたい情報をアップしています。

例えば…… 甫水会とは…？

支部行事に参加してみたい。

学生の大会情報を知りたい など

URL : <https://www.toyo-hosui.jp>



甫水会からのお願い

保証人住所変更手続きについて

転居等により保証人住所・電話番号を変更される場合には、ご子息・ご息女に東洋大学ホームページサイト『ToyoNet-G』（とよねっとジー）で変更手続きを行うようにお伝え下さい。

この手続きで「父母懇談会」・「支部総会」・「会員の集い・就職フォーラム」・「会報 東洋」等甫水会及び会員の皆様が所属する支部からのすべての送付物のあて先に反映されます。

なお、甫水会では、住所変更手続きは受け付けられませんので、ご了承のほどお願い申し上げます。

教務担当窓口への提出 もしくは『ToyoNet-G』からの変更をお願い致します。

東洋大学甫水会

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20（8号館中2階）

TEL.03-3945-0123 FAX.03-3942-7612

メールアドレス hosui@toyo.jp

発行日 2022年3月10日 編集・発行 東洋大学甫水会